

平成26年度 生涯教育研修 参加状況表

(平成27年3月31日)

研修No	回数	研修会名	実施日数	研修開催日	定員	応募	決定者数	受講者数	保健師		助産師		看護師		准看護師		その他		
									会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員			
1 資格習得	1	医療安全管理者養成研修会	7	9/10 ~ 9/19	120	96	92	91	0	0	6	0	85	0	0	0	0		
	2	認定看護管理者 フェーストレベル教育課程-第3回-	28	6/13 ~ 7/23 9/26	80	97	95	95	0	0	5	0	90	0	0	0	0		
	3	認定看護管理者制度 セカンドレベル教育課程	37	9/8 ~ 11/27 2/6	30	32	30	30	0	0	3	0	27	0	0	0	0		
	4	4	AHA心肺蘇生法トレーニング 一次救命処置 (BLSコース)	A	1	5/24	50	91	55	55	0	0	2	0	50	0	2	1	0
		B		1	5/25	50	81	57	57	0	0	1	0	55	0	1	0	0	
		C		1	10/18	50	86	56	54	0	0	2	0	47	2	3	0	0	
		D		1	10/19	50	71	53	53	1	0	0	0	49	2	1	0	0	
		-		計	4		200	329	221	219	1	0	5	0	201	4	7	1	0
	5	8	実習指導者講習会	44	10/10 ~ 12/15	60	67	64	64	1	0	1	0	53	9	0	0	0	
	6	9	訪問看護師養成講習会「訪問看護研修ステップ1」	3	7/2 ~ 2/13	40	45	44	44	1	0	1	0	28	13	0	1	0	
57	10	トピックス・精神科訪問看護研修	3	1/12 1/18 1/24	80	76	73	73	2	0	2	1	53	14	1	0	0		
小 計					610	742	619	616	5	-	23	1	537	40	8	2	-		
2 ステップアップ (段階)	7	11	地域・在宅看護実習指導者講習会	4	9/24 9/25 10/16 10/17	40	46	45	45	0	0	0	0	27	17	0	1	0	
	8	12	新人看護職員研修 (実習あり)	A	15	4/30 ~ 10/31	20	18	16	16	0	0	0	0	3	5	6	2	0
			新人看護職員研修 (実習なし)	B	9	4/30 ~ 10/31	20	23	23	23	0	1	0	0	4	15	0	3	0
			・情報管理・感染管理	C	1	4/30	10	2	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0
			・口腔ケア	D	1	5/1	10	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
			・フィジカルアセスメント	E	1	5/22	10	14	14	14	0	0	0	0	8	6	0	0	0
			・心電図・心肺蘇生法	F	1	5/23	10	4	4	4	0	0	0	0	1	3	0	0	0
			・スキンケア	G	1	6/10	10	4	4	4	0	0	0	0	1	3	0	0	0
			・与薬の管理と薬剤効果・医療安全	H	1	8/1	10	11	11	10	0	0	0	0	7	3	0	0	0
			・物品管理と経済効果・死後のケア	I	1	10/31	10	9	9	9	0	0	0	0	8	1	0	0	0
	-	計	15		50	86	84	83	-	1	-	-	35	36	6	5	-		
	9	13	新人助産師研修 (実技研修あり)	A	15	6/20 6/25 6/26 6/27	20	23	22	22	0	0	18	1	3	0	0	0	0
			・助産師のリスクマネジメント-産科救急-	B	1	7/16	20	25	20	20	1	0	15	1	3	0	0	0	0
			・糖尿病妊産婦へのケア支援	C	1	7/31	20	25	24	24	1	0	20	1	2	0	0	0	0
			・医療安全	D	1	8/1	20	20	20	20	1	0	16	1	2	0	0	0	0
			・母乳育児	E	1	10/1	20	27	27	27	1	0	22	1	3	0	0	0	0
			・産褥婦と家族への支援・リフレクション	F	1	10/22	20	23	20	20	1	0	16	1	2	0	0	0	0
			・新生児蘇生法	G	1	6/27	2	2	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	-	計	15		20	145	135	135	5	-	108	7	15	-	-	-	-		
	10	14	新人看護職員研修責任者・教育担当者研修会	5	9/4 9/5 9/6 10/2 10/3	60	53	49	48	0	0	0	0	47	1	0	0	0	
12	22	フレッシュセミナー (春・秋)	15	A	3	8/22 8/25 8/26	120	84	76	76	0	0	2	0	67	7	0	0	0
			16	B	3	9/22 9/24 9/25	120	114	107	104	1	0	0	0	92	11	0	0	0
			17	A	2	5/26 12/19	120	142	141	142	2	0	5	0	100	31	2	2	0
			18	B	2	5/27 10/7	120	147	146	146	4	0	5	0	106	28	3	0	0
			19	C	2	5/28 10/8	120	142	142	142	2	1	5	0	98	33	2	1	0
			20	D	2	5/29 10/9	120	148	147	146	1	0	5	0	111	26	3	0	0
			21	E	2	5/30 10/10	120	142	141	141	4	0	1	0	94	34	4	4	0
			22	F	2	6/2 10/14	120	140	138	139	0	0	0	0	107	29	3	0	0
			23	G	2	6/3 10/15	120	142	142	140	0	0	1	0	115	18	4	2	0
			24	H	2	6/4 10/16	120	137	136	136	0	0	2	0	113	17	1	3	0
			25	I	2	6/5 10/17	120	138	136	136	0	0	1	1	104	22	4	4	0
			26	J	2	6/6 10/20	70	90	90	87	1	0	0	0	66	15	2	3	0
			-	計	20		1,150	1,368	1,359	1,355	14	1	25	1	1,014	253	28	19	-
13	30	2年目ナースのための チームメンバーに求められるメンバーシップ	27	A	1	5/13	120	150	147	147	1	0	2	0	138	0	5	1	0
			28	B	1	5/14	120	149	148	147	3	0	3	0	135	0	6	0	0
			29	C	1	5/15	120	152	150	147	0	0	3	0	133	1	10	0	0
			30	D	1	5/16	120	151	150	149	1	0	3	0	137	1	7	0	0
			31	E	1	5/19	120	150	148	143	1	1	2	0	130	5	3	1	0
			32	F	1	5/20	120	152	150	145	3	0	2	0	130	3	7	0	0
			-	計	6		720	904	893	878	9	1	15	-	803	10	38	2	-
14	33	人を育てる臨床実習	2	1/20 1/21	80	112	106	104	0	0	3	0	99	2	0	0	0		
15	34	主任に求められるリーダーシップ (問題解決法) I	A	2	9/29 9/30	120	146	137	135	2	0	3	0	126	4	0	0	0	
	35	主任に求められるリーダーシップ (問題解決法) II	B	2	12/15 12/16	120	136	125	118	2	0	3	0	108	5	0	0	0	
16	36	【インターネット配信・オンデマンド】 労働者として知っておきたい労働基準法の基礎知識	1	8/4	120	52	47	45	0	0	2	0	43	0	0	0	0		
17	37	【インターネット配信・オンデマンド】 看護職の夜勤交代勤務ガイドラインの勤務編成の基準	1	8/4	120	44	40	38	0	0	1	0	37	0	0	0	0		
18	38	看護管理者研修	6	7/24 ~ 8/21	120	43	42	42	0	0	3	0	38	0	1	0	0		
小 計					3,122	3,333	3,245	3,206	33	3	165	8	2,551	346	73	27	-		

研修No	回数	研修会名	実施日数	研修開催日	定員	応募	決定者数	受講者数	保健師		助産師		看護師		准看護師		その他		
									会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員			
19	39	感染管理 (基礎編・実践編)	A	5	7/30 7/31 8/27 8/28 8/29	120	98	90	90	0	1	2	0	77	10	0	0	0	
19	40		B	5	8/5 8/6 9/1 9/2 9/3	120	101	94	93	3	0	2	0	82	6	0	0	0	
20	41	がん看護1・2・3		6	10/27 ~ 12/9	120	111	109	107	1	0	2	0	98	6	0	0	0	
21	42	認知症看護専門職初心者研修		3	7/28 7/29 8/7	70	75	75	74	0	0	0	0	72	0	2	0	0	
22	43	認知症看護専門職中堅者研修 I	A	5	7/28 7/29 8/7 10/23 10/24	25	70	68	68	0	0	0	0	66	1	1	0	0	
		認知症看護専門職中堅者研修 II	B	2	10/23 10/24	25	5	5	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	
23	44	認知症看護専門職指導者研修 I	A	14	7/28 ~ 12/19	10	13	12	12	0	0	1	0	11	0	0	0	0	
		認知症看護専門職指導者研修 II	B	11	10/23 ~ 12/19	10	2	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
		認知症看護専門職指導者研修 III	C	9	11/11 ~ 12/19	10	8	6	6	0	0	0	0	6	0	0	0	0	
24	45	【インターネット配信研修・リアルタイム/看護会館会場】 災害医療と看護 (基礎編)	A	2	7/10 7/11	150	137	132	130	2	1	3	0	122	2	0	0	0	
		【インターネット配信研修・リアルタイム/亀田会場】 災害医療と看護 (基礎編)	B	2	7/10 7/11	80	14	13	13	0	0	4	0	8	0	1	0	0	
		【インターネット配信研修・リアルタイム/旭会場】 災害医療と看護 (基礎編)	C	2	7/10 7/11	40	17	17	17	0	0	0	0	16	0	1	0	0	
25	46	災害医療と看護 (実践編)		2	3/4 3/5	70	79	73	71	0	0	0	0	70	1	0	0	0	
26	47	災害支援ナースフォローアップ研修		1	2/17	70	93	88	83	0	0	0	0	83	0	0	0	0	
27	48	初めて取り組む看護研究 I -基礎編-		3	5/7 5/8 6/11	120	103	102	101	0	0	0	0	98	2	1	0	0	
28	49	初めて取り組む看護研究 II -活用編-		2	9/4 12/12	30	25	23	22	0	0	2	0	19	0	1	0	0	
29	50	看護研究個別支援		8	5/7 ~ 3/12	10	7	7	7	0	0	1	0	6	0	0	0	0	
その他	51	精神・身体疾患併発患者診療機能支援事業 フォローアップ研修		1	10/28	30	21	21	21	0	0	0	0	18	3	0	0	0	
小計						1,110	979	937	922	6	2	17	-	859	31	7	-	-	
ステップアップ 小計						4,232	4,312	4,182	4,128	39	5	182	8	3,410	377	80	27	-	
3 看護実践	30	52	助産師のリスクマネジメント-産科救急-	1	7/16	20	10	9	9	0	0	6	1	2	0	0	0	0	
	31	-	助産師外来システム (仮)	-	開催中止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	32	53	糖尿病妊娠産婦へのケア支援	1	7/31	20	17	16	15	0	0	15	0	0	0	0	0	0	
	33	54	母乳育児	1	10/1	30	17	13	13	0	0	6	0	6	1	0	0	0	
	34	55	【インターネット配信研修・リアルタイム】 助産師のクリニカルリーダーの評価と運用の実践	1	12/20	50	21	21	21	0	0	13	3	5	0	0	0	0	
	35	56	職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント	1	12/10	100	138	132	128	3	0	4	0	116	5	0	0	0	
	36	57	うつ傾向にある患者への関わり方	1	12/12	100	135	101	98	0	0	2	0	84	6	6	0	0	
	37	58	退院支援研修-地域と施設の相互交流-	4	7/25 7/26 9/9	75	119	77	76	0	0	0	0	74	2	0	0	0	
	38	59	社会福祉施設における看護の役割と実際	1	9/1	30	19	16	16	0	0	1	0	13	0	2	0	0	
	39	60	高齢者に起こりやすい機能低下と生活を支える看護	1	1/29	150	135	135	128	2	0	1	0	111	4	9	1	0	
	40	61	手術看護 -外回り看護のエビデンスを学ぶ-	1	11/1	120	124	122	120	1	0	0	0	108	1	9	1	0	
	41	62	急性期の看護-呼吸器に強いナースを目指そう-	A	2	1/22 1/23	150	155	141	136	5	0	1	0	128	2	0	0	0
				B	2	2/12 2/13	150	137	134	133	1	0	0	0	130	0	2	0	0
	42	64	在宅緩和ケア	4	6/30 7/1 9/2	30	45	44	44	0	0	0	0	44	0	0	0	0	
	43	65	穏やかな看取りへのケア	A	1	2/2	150	145	137	130	1	0	1	0	123	0	5	0	0
				B	1	2/3	150	123	120	120	2	0	0	0	109	0	9	0	0
	44	67	見直されてきた外来看護	A	1	8/26	60	79	70	70	0	0	3	0	61	2	4	0	0
	44	68	見直されてきた外来看護	B	1	12/11	60	69	62	57	1	0	1	0	48	3	3	1	0
	45	69	摂食・嚥下障害を持つ患者の看護	A	2	10/29 10/30	120	111	105	103	0	0	2	0	98	0	3	0	0
				B	2	12/4 12/5	120	109	106	101	0	0	0	0	94	1	6	0	0
	46	71	看護師としての成長を支える自己の振り返り -リフレクション-	1	2/27	120	89	81	78	1	0	1	0	73	1	2	0	0	
	47	72	医療安全基礎 -やってみよう!危険予知トレーニング (KYT) -	A	1	12/17	120	126	113	109	5	0	0	1	94	5	3	1	0
				B	1	12/18	120	102	95	92	0	0	4	0	77	2	9	0	0
	48	74	糖尿病患者のセルフケア支援 (基礎編)	1	10/22	150	145	139	136	3	0	2	0	120	5	6	0	0	
	49	75	糖尿病患者のセルフケア支援 (実践編)	1	12/1	120	119	112	109	2	0	2	0	101	2	2	0	0	
	50	76	最新の褥瘡予防とケア	A	2	12/2 12/3	150	180	154	152	0	0	1	0	142	3	3	3	0
				B	2	2/9 2/10	150	139	130	123	0	0	0	0	115	1	7	0	0
	51	78	看護職のためのリラクゼーション	A	1	3/10	100	108	101	99	0	0	5	0	87	1	6	0	0
	51	79	看護職のためのリラクゼーション	B	1	3/11	100	69	64	61	1	0	1	0	51	3	5	0	0
	52	80	禁煙支援者研修	1	2/24	40	46	40	38	2	1	1	0	30	4	0	0	0	
53	81	看護職の倫理的責任・法的責任	2	2/4 2/5	150	148	143	141	1	0	2	0	138	0	0	0	0		
54	82	看護補助者教育責任者研修	2	8/4 8/5	60	88	79	79	0	0	1	1	75	1	0	0	1		
55	83	喀痰吸引等指導者養成講習会	2	5/19 5/20	60	35	34	33	1	0	0	0	32	0	0	0	0		
小計						3,125	3,102	2,846	2,768	32	1	76	6	2,489	55	101	7	1	
合計						7,967	8,156	7,647	7,512	76	6	281	15	6,436	472	189	36	1	

第33回千葉県看護研究学会

研修No	回数	研修会名	実施日数	研修開催日	定員	応募	決定者数	受講者数	保健師		助産師		看護師		准看護師		その他	
									会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員		
56	84	第33回千葉県看護研究学会	1	2/20	500	400	386	370	4	0	6	0	339	9	9	0	3	
合計						500	400	386	370	4	-	6	-	339	9	9	-	3

衛星通信研修 (主催: ヴェクソンインターナショナル株・S-QUE研究会)

回数	研修会名	実施日数	研修開催日	定員	受講者数
85	重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修	1	6/29	200	193
86		1	8/31	200	181
87		1	12/14	200	172
合計				600	546

2. 第33回千葉県看護研究学会

(1) 目的

看護の現場で起きた課題や疑問などを看護研究としてまとめ、発表し、成果や課題を参加者間で共有することを得られた知見を看護実践に生かし、看護現場の質を高める。

(2) テーマ 「想いをかたちに 看護で未来につなげる」

(3) 日時 平成27年2月20日（金）9：30～16：00

(4) 場所 アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張ホール>

(5) プログラム

①開会式 9：35～9：55

②特別講演 10：00～11：30

テーマ 「地域包括ケアの時代に～看護職に期待されること～」

講師 (株)ケアーズ 代表取締役

白十字訪問看護ステーション 統括所長

暮らしの保健室 室長 秋山正子

③ミニレクチャー 11：40～12：10

テーマ 「看護実践をつたえたい ～看護研究のまとめ方～」

講師 順天堂大学医療看護学部 准教授 島田広美

④研究発表 13：00～15：40 ①口演 29題 ②示説 10題 合計39題

⑤看護研究支援 13：30～15：30（相談支援、文献検索等）

(6) 総参加者数 総数420名

(7) 表彰演題（表彰は平成27年度通常総会にて行う）

①最優秀演題 「がん化学療法を受ける患者の看護支援に対する評価と課題

— 一般外科病棟で化学療法を受ける患者の看護支援を考える—

青木千栄 医療法人社団有相会 最成病院

②優秀演題 「長期人工呼吸器装着患者のQOL向上を目指して—多職種連携の取り組みから—」

金納千夏 松戸市立福祉医療センター東松戸病院

「ダブルグローブの確立

—ピンホールの発生状況調査を通して感染に対する意識改革を図る—

瀬畑友莉恵 社会医療法人社団木下会千葉西総合病院

「黒酢を用いた唾液分泌の効果 —口腔内乾燥の改善を目指して—」

藍原由記 独立行政法人国立病院機構千葉医療センター

(8) まとめ

千葉県看護研究学会の開催は33回をむかえた。

演題数39題、参加者数420人であった。演題数は前年度より微増にて、計画した目標演題数60題には届かなかったが参加者数は目標の84%であり、広報の成果が少しずつではあるが感じられた。

口演発表会場や示説会場では活発な質疑応答や意見交換が行われ、会場全体が活気にあふれていたように感じられた。

平成26年度は、千葉県看護研究学会実行委員会を設置し、実行委員会の中で企画・運営・内容等の検討を重ねた。特に初の試みとして、ランチョンセミナーとして看護研究支援のためのミニレクチャーを開催し、多くの参加者が聴講していた。

また、研究支援の一環として昨年同様看護研究相談コーナーも開設。ミニレクチャーの講師も支援に加わり、

学会開催時間が過ぎても熱心に助言を受けている参加者も見受けられ、今後も引き続き支援コーナーを有効活用できるように設営を考えたい。

平成27年度も看護研究学会実行委員会を設置し、社会情勢をふまえ、時代のニーズに応じた企画・運営を検討し、充実した学会につなげていく必要がある。

3. 助産師出向支援モデル事業（日本看護協会委託事業）

本事業は日本看護協会が、助産師の偏在を是正し、助産師の実践能力強化に資する助産師出向支援モデルを、平成25～26年度厚生労働省看護職員確保対策特別事業として実施することとなり、その事業の実施県として千葉県も15県のうちの一つとして参加した。

目的: 安全・安心な妊娠・出産・育児支援のため、助産師の実践能力強化、助産師学生の臨地実習施設の確保のための指導力強化、助産師偏在是正を図る。

実施及び課題: 今年度4月から助産師出向支援モデル事業コーディネーターを採用。協会担当者と行動を共にして以下のように実施した。

平成25年度に実施した助産師出向に関する事前調査に基づき、参加意思のあった12施設中、助産師出向支援モデル事業協議会の派遣基準に基づいて選定した、3組6施設の施設間のマッチング調整に取り組んだ。しかし各施設の状況変化（助産師数の変動、新設病棟準備等）とモデル事業を実施する際の条件の不一致等で施設間の合意を得たのは1組であった。その後、平成26年10月からの助産師派遣に向けて準備を開始。派遣開始数日前の協定書締結直前で、派遣側の内部調整等の関係で派遣中止となり本モデル事業は未実施となった。

今後は、千葉県の現状に合わせた助産師出向支援の条件等の見直しと助産師出向に関する真のニーズの明確化を図る必要がある。

また事業推進段階では事前に「事業参加承諾書」等の文書による取り交わしを行い、施設間と事業担当者の相互理解を図る必要がある。

Ⅱ 看護職等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業

1. 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業

看護職のWLB推進ワークショップ プログラム

開催日程 平成26年9月18日(木)・19(金) 2日間

開催会場 千葉県ナースセンター 3階実習室

参加者 参加施設、支援者、推進者、WLB推進部会等メンバー、オブザーバー

〈1日目：10:00～16:00〉

時間	内容	講師・担当者	司会等
10:00～10:10 (10分)	あいさつ	千葉県看護協会長	福留理事
	講義 テーマ ―看護職が働き続けられるために―		
10:10～10:30 (20分)	1. 「千葉県におけるWLB取組み3年目の評価と今後の課題」	千葉県看護協会 WLB推進アドバイザー 山田みどり	
10:30～11:30 (60分)	2. 「組織的な取組みをめざして～職員の勤労意欲と満足感～」	千葉県循環器病センター 事務局長 氏原 強	
11:30～12:00 (30分)	3. 「事例発表：2年間の取組みから見えてきたこと」	取組み3年目 国保松戸市立病院 看護局長 齋藤洋子	
12:00～13:00	昼 食		
13:00～16:00 (180分)	個別ワーク（各施設毎で作業） ・進め方のオリエンテーション ・インデックス調査結果の分析 ・自施設の問題・課題の確認、優先度の明確化 ・目標の設定 ・アクションプランの立案 ※随時、支援者、推進者、WLB推進部会メンバー等の助言を受けながら進めていく	千葉県看護協会推進者・ 支援者	福留理事

〈2日目：10:00～15:30〉

時間	内容	講師・担当者	司会等
10:00～12:30 (150分)	個別ワーク（各施設毎で作業）	千葉県看護協会支援者他	福留理事
12:30～13:30	昼 食		
13:30～14:30 (60分)	各施設の発表（2施設、各施設30分） ・自施設の分析結果(問題、課題、優先度、その根拠、推進づくり)及びアクションプラン(案)を発表 参加施設、支援者、推進者、WLB推進部会メンバー等と討議を行う	千葉県看護協会推進者・ 支援者	福留理事
14:30～15:15 (45分)	全体討議、意見交換、総評		WLB推進部会・ 澤田専務
15:15～15:30 (15分)	フォローアップワークショップ（平成27年1月16日） について説明		山田アドバイザー

看護職のWLB推進フォローアップワークショッププログラム

目的：ワークショップ後の各施設での取組みについて、情報を共有すると共に意見交換を行い、次年度以降の各施設における取組み課題を明確にする。

開催日時：平成27年1月16日（金）9時30分～15時30分

開催会場：千葉県看護会館2階大研修室

参加者：参加施設、ワーク・ライフ・バランス推進部会委員(支援者、推進者)及び事務局、傍聴者等

内 容

司会：福留理事

時 間	内 容	担 当
9:30～9:35	あいさつ	星野会長
9:35～10:05 10:05～10:35 各施設30分 (質疑応答含む)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">各施設の報告</div> 東邦大学医療センター佐倉病院 柏厚生総合病院 ー報告内容ー ①病院概要 ②アクションプラン ③推進体制づくり ④アクションプランの実施状況 ⑤平成27年度に向けての取組み計画、課題※参加施設、支援者、推進者等の参加者で討議を行う	
10:35～10:45	WLB推進部会支援者より一言	小谷委員 嶋村委員
10:45～11:45 <4施設> 各施設15分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">取組み2年目施設の進捗状況について</div> ①国保匝瑳市民病院 ②さんむ医療センター ③千葉県立佐原病院④千葉療護センター	
11:45～12:00	総 評	WLB推進部会推進者
12:00～13:00	昼 食	
13:00～14:30 14:30～15:00 15:00～15:30	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">短時間正職員制度について</div> 公開講座：～短時間正職員制度の導入について～ (株) 浜銀総合研究所 経営コンサルティング部 コンサルタント 東海林 崇 氏 事例発表：千葉県済生会習志野病院 看護部長 内山 弘子 氏 (認定看護師の短時間正規雇用について) 質疑応答 等	

2 看護進路相談事業

ふれあい看護体験事業

- (1) 目的 中・高校生が病院や介護施設において、看護師の看護実践場面の見学や体験をとおして看護を実感することにより、看護についての関心を高め、理解を深めることにより看護を志す人材を確保する。
- (2) 実施期間 平成26年5月～平成26年12月
- (3) 受入施設 84施設
- (4) 実施施設 72施設
- (5) 参加人数 614名
- (6) 実施内容
- ① 看護についての説明
 - ② 院内見学
 - ③ ベッドメイキング
 - ④ 清拭、手浴、足浴等清潔の介助
 - ⑤ 移動の介助（車椅子移動）
 - ⑥ 食事介助
 - ⑦ バイタルサイン測定
 - ⑧ 看護に係わる進路相談等
- (7) 参加者の感想
- ・看護体験に参加して、看護師になる夢に近づけたような気がする。
 - ・看護師の責任の重さを感じた。
 - ・看護師としての仕事に誇りを持ちながら働いている姿に感動した。
- (8) 受入施設の感想
- ・自分が看護を志した頃に戻ることができた
 - ・看護の心を継承する責任感を感じた。
 - ・スタッフも参加者から刺激を貰ったようだ。

進路相談事業

- (1) ナースセンターにおける進路相談

項目	一般	高校	中学	教員	保護者	計
電話相談	30	63	0	32	11	136
面接	7	0	0	0	1	8
メール	4	7	0	1	3	15
FAX・郵便	0	0	0	0	0	0
合計	41	70	0	33	15	159

- (2) 出前授業（出張相談含む）

NO	学校名	参加者数	NO	学校名	参加者数
1	九十九里町立九十九里中学校	40	10	八千代松陰高等学校	40
2	東京学館高等学校	30	11	千葉市立さつきが丘中学校	94
3	四街道市立八千代中学校	100	12	千葉市立磯辺中学校	117
4	香取市立栗源中学校	131	13	八街市立八街北中学校	124
5	千葉県立千葉女子高等学校	48	14	流山市立東深井中学校	415
6	西武台千葉中学校	66	15	市川市立福栄中学校	28
7	千葉県立船橋古和釜高等学校	600	16	習志野市立第五中学校	249
8	銚子市立第六中学校	76	合計		2199
9	千葉県立八千代高等学校	41			

3 ナースセンター事業

(1) 看護職の職業紹介事業

ナースセンター登録状況

①新規求職登録

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保健師	14	11	11	21	18	14	16	8	20	32	16	24	205
助産師	3	3	4	3	4	4	2	2	0	7	4	4	40
看護師	80	77	71	66	60	77	70	83	60	84	69	69	866
准看護師	8	10	7	3	6	6	4	3	5	5	4	9	70
合計	105	101	93	93	88	101	92	96	85	128	93	106	1181

* 求職登録有効期間 6か月

②新規求人登録及び就業者数

区分		新規求人人数					合計	就業者数					合計
		保健師	助産師	看護師	准看護師	小計		保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	
病院	常勤	0	15	603	21	639	791	0	0	41	3	44	66
	非常勤	0	4	137	11	152		0	1	16	2	19	
	臨時	0	0	0	0	0		0	0	3	0	3	
診療所	常勤	0	1	106	8	115	227	1	0	11	0	12	39
	非常勤	1	0	103	7	111		0	0	23	2	25	
	臨時	0	0	0	1	1		0	0	2	0	2	
訪問看護 ステーション	常勤	1	0	119	2	122	186	0	0	6	0	6	8
	非常勤	1	0	63	0	64		0	0	2	0	2	
	臨時	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	
介護保健 施設等	常勤	3	0	194	20	217	361	1	0	4	0	5	16
	非常勤	0	0	126	18	144		0	0	9	2	11	
	臨時	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	
社会福祉 施設	常勤	0	0	18	0	18	28	0	0	3	0	3	5
	非常勤	0	0	10	0	10		0	0	2	0	2	
	臨時	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	
県・市町村	常勤	3	0	0	0	3	123	3	0	0	0	3	23
	非常勤	24	75	19	0	118		9	0	4	0	13	
	臨時	0	0	2	0	2		3	0	4	0	7	
事業所等	常勤	10	0	29	0	39	95	22	0	5	0	27	55
	非常勤	29	0	24	1	54		10	2	7	0	19	
	臨時	0	0	2	0	2		3	0	6	0	9	
学校等	常勤	0	0	18	0	18	40	1	3	4	0	8	18
	非常勤	0	2	11	0	13		1	1	4	0	6	
	臨時	0	0	9	0	9		0	0	4	0	4	
その他	常勤	0	0	16	1	17	172	5	0	10	1	16	234
	非常勤	11	1	31	0	43		1	1	21	1	24	
	臨時	0	0	112	0	112		4	1	189	0	194	
小計	常勤	17	16	1,103	52	1,188	2,023	33	3	84	4	124	464
	非常勤	66	82	524	37	709		21	5	88	7	121	
	臨時	0	0	125	1	126		10	1	208	0	219	
合計		83	98	1,752	90	2,023	64	9	380	11	464		

* 求人登録有効期間 6か月

(2) 看護職再就業講習会

目的： 未就業の看護職の職場復帰を支援するため、最近の医療や看護の知識技術を習得する機会を確保し、就業の動機づけにする。

参加状況	参加人数	2名
	就業者	0名
	就業率	0%

参加者の背景

年齢	職種別数				人数(名)	経験年数	人数(名)	ブランク	人数(名)
	保	助	看	准					
30歳以下代			1		1	5年未満	1	5年未満	1
30歳代			1		1	5年以上	1	10年以上	1
合計人数			2		2		2		2

(3) 看護基礎技術講習会

目的： 潜在看護職及び求職中の看護職で、看護基礎技術に不安があり、再学習及び再習熟を希望している方を対象に、ナースセンターにおいて看護基礎技術を体験、習熟する場を確保し、支援することにより再就業への動機づけとする。

参加状況	参加人数	52名
	就業者	17名
	就業率	32.7%

参加者の背景

年齢	職種別数				人数(名)	経験年数	人数(名)	ブランク	人数(名)
	保	助	看	准					
30歳以下			4		4				
30～35歳			4	3	7	5年未満	12	5年未満	20
36～40歳	1		18		19	10年未満	22	10年未満	14
41～45歳	1	1	10		12	10年以上	18	10年以上	18
46～50歳			6		6	合計	52	合計	52
51歳以上			2	2	4				
合計人数	2	1	44	5	52				

(4) 看護職の定着確保にかかる調査

①看護職の定着確保動向調査

調査目的： 看護職の定着確保対策の一環として、毎年、新人看護職の現状や、離職中の看護職の就業意向や希望する勤務条件、さらに、病院における看護職の需給動向や教育研修体制、労働条件、定着確保対策を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料とする。

調査対象及び調査方法、調査期間

調査対象	調査方法	調査期間
千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収	平成26年10月1日～平成26年10月15日
千葉県看護協会主催のフレッシュセミナー受講生	フレッシュセミナーにて調査票を配布・回収	平成26年 10月7, 8, 9, 10, 14, 15, 16, 17, 20日 12月19日
求人施設（県内病院の看護管理者）	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収	平成26年10月1日～平成26年10月15日

調査結果の概要

ア. 千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職

対象数：184名 回収数：73名 (回収率：39.7%)

(ア) 求職者の現住所

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛
23	4	9	8	3	10	6
31.5%	5.5%	12.3%	11.0%	4.1%	13.7%	8.2%
利根	山武	長夷	君津	安房	県外	無回答
1	1	1	4	2	0	1
1.4%	1.4%	1.4%	5.5%	2.7%	0.0%	1.4%

(イ) 年齢

20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
0	3	25	26	10	9
0.0%	4.1%	34.2%	35.6%	13.7%	12.3%

(ウ) 離職時の職種

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
8	4	57	3	1
11.0%	5.5%	78.1%	4.1%	1.4%

(エ) 看護業務の通算勤務年数

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上	無回答
2	8	11	10	13	9	19	1
2.7%	11.0%	15.1%	13.7%	17.8%	12.3%	26.0%	1.4%

(オ) ブランク期間

0～3年	4～5年	6～10年	11年以上	無回答
54	4	11	2	2
74.0%	5.5%	15.1%	2.7%	2.7%

(カ) 離職時の雇用形態

正規職員	非常勤職員	派遣	無回答
44	27	1	1
60.3%	37.0%	1.4%	1.4%

(キ) 離職理由

定年退職	契約期間満了	結婚	出産育児 子供のため	配偶者の 転勤	老親の世話 家族の介護	家事と両立 しない	健康上の 理由	自分の適正 能力への 不安	Uターンの ため
6	4	8	17	8	7	6	11	3	3
8.2%	5.5%	11.0%	23.3%	11.0%	9.6%	8.2%	15.1%	4.1%	4.1%

通勤困難	転居	他分野への 興味	進学	看護職に 向いて いない	人間関係	看護内容 への不満	継続教育が ない	賃金への 不満	労働時間へ の不満
2	12	3	2	0	16	8	0	2	6
2.7%	16.4%	4.1%	2.7%	0.0%	21.9%	11.0%	0.0%	2.7%	8.2%

夜勤回数が 多い	残業量が 多い	福利厚生が 十分でない	休みが 取れない	その他
0	1	0	4	9
0.0%	1.4%	0.0%	5.5%	12.3%

その他

- サービス残業 妊活 孫の世話 倒産
 不妊治療へ（師長）の不理解 クリニックの都合

(ク) 就業条件

保育所があ る（夜間保 育含む）	育児制度が 利用できる	介護休暇が とれる	休みがとり やすい	超過勤務が 少ない	夜勤回数が 少ない	夜勤がない	柔軟な勤務 形態の導入	自分の希望 する給与	通勤に便利 な職場
13	6	3	33	17	2	14	26	7	34
17.8%	8.2%	4.1%	45.2%	23.3%	2.7%	19.2%	35.6%	9.6%	46.6%

看護内容が 充実してい る	自分の能力 が活かせる	継続教育が 充実してい る	希望する看 護領域であ る	資格取得支 援がある	無回答
9	8	7	12	0	7
12.3%	11.0%	9.6%	16.4%	0.0%	9.6%

イ. 千葉県看護協会主催のフレッシュセミナー受講中の看護職

対象数 : 1,326名 回収数 : 1,306名 (回答率 : 98.5%)

(ア)性別

女性	男性	無回答
1160	140	6
88.8%	10.7%	0.5%

(イ)卒業した看護師等学校養成所

大学院	大学	看護学校	保健師学校	助産師学校	准看護師学校	その他	無回答
3	405	784	2	16	40	45	11
0.2%	31.0%	60.0%	0.2%	1.2%	3.1%	3.4%	0.8%

その他

<input type="radio"/> 5年一貫高校	<input type="radio"/> 看護短期大学
------------------------------	------------------------------

(ウ)職種

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
51	44	1077	48	86
3.9%	3.4%	82.5%	3.7%	6.6%

(エ)勤務形態

常勤	非常勤	無回答
1017	1	12
77.9%	0.1%	0.9%

(オ)現在の就業施設の所在地区

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛	利根	山武	長夷
195	84	222	149	85	52	148	86	2	13
14.9%	6.4%	17.0%	11.4%	6.5%	4.0%	11.3%	6.6%	0.2%	1.0%

君津	安房	県外	無回答
58	99	2	111
4.4%	7.6%	0.2%	8.5%

(カ)施設規模・施設等

病院							無床診療所	有床診療所	市町村
20~99床	100~199床	200~299床	300~399床	400~499床	500床以上	床数不明			
14	54	132	149	226	299	0	0	2	2
1.1%	4.1%	10.1%	11.4%	17.3%	22.9%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%

健康福祉センター	訪問看護ステーション	介護保健施設	社会福祉施設	その他	無回答
0	0	0	0	0	154
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%

(キ)辞めたいと思ったことの有無

ある	ない	無回答
932	353	20
71.4%	27.0%	1.5%

(ク)辞めたいと考えた理由

配属部署の専門的な知識や技術が不足している	516	39.5%
勤務時間内の仕事が終わらない	484	37.1%
自分は看護職に向いていないのではないと思う	481	36.8%
医療事故を起こさないか心配である	474	36.3%
基本的な技術が身についていない	409	31.3%
自分の看護が患者のニーズにこたえているか自信がない	360	27.6%
仕事の優先順位が付けられない	339	26.0%
自分のペースで仕事ができない	331	25.3%
職場の先輩に質問しづらい	288	22.1%
ヒヤリハットレポートを書いた	270	20.7%
看護職を辞めたいと思っている	242	18.5%
就職前に考えていた看護の仕事とギャップが大きい	239	18.3%
与えられる課題等があつて休日に休めない	214	16.4%
職場の雰囲気になじめない	197	15.1%
受け持ち患者が多すぎる	189	14.5%
看護業務以外の業務が多すぎると感じる	182	13.9%
十分な教育研修が受けられていないと感じる	138	10.6%
プリセプターと合わない	132	10.1%
医師との意思疎通がうまくいかない	118	9.0%
プリセプターからの1人立ちが早いと感じる	105	8.0%
電話の対応がうまくできない	89	6.8%
患者及び家族とのコミュニケーションがうまくとれない	84	6.4%
夜勤に入るのが早いと感じる	78	6.0%
直属の上司からサポートが得られない	72	5.5%
交代制の勤務に慣れない	70	5.4%
院内のITシステムがうまくいかない	44	3.4%
夜勤のリーダー業務が負担である	25	1.9%
無回答	13	1.0%

(ケ)辞める事を思いとどまった理由

生活していくための手段	545	41.7%
自分なりに整理がたったから	250	19.1%
収入が安定しているから	259	19.8%
同僚に相談し、再度やる気になったから	199	15.2%
職場環境が仕事をしやすい環境だったから	119	9.1%
目的・目標を持てたから	57	4.4%
上司に認めてもらえたから	58	4.4%
師長等中間管理職に相談し、再度やる気になったから	68	5.2%
仕事にいきがいを感じたから	39	3.0%
看護管理者が尊敬できたから	28	2.1%
給料が仕事に見合っていたから	20	1.5%
研修の機会が用意されたから	8	0.6%
結婚・出産・育児に家族の協力が得られたから	3	0.2%
その他	108	8.3%

その他

<input type="radio"/> 奨学金返済のため	<input type="radio"/> 辞めづらい	<input type="radio"/> プリセプターのサポート
<input type="radio"/> 患者からの感謝	<input type="radio"/> 先輩のサポート	<input type="radio"/> 決断できない
<input type="radio"/> 業務改善	<input type="radio"/> 同期の励まし	<input type="radio"/> 時期がまだ早い
<input type="radio"/> 部署異動	<input type="radio"/> 辞職検討中	<input type="radio"/> 辞めても仕方がない

ウ. 求人施設(県内病院の看護管理者)

対象施設数 : 283施設 回収数 : 177施設 (回収率 : 62.5%)

(ア) 施設の所在地

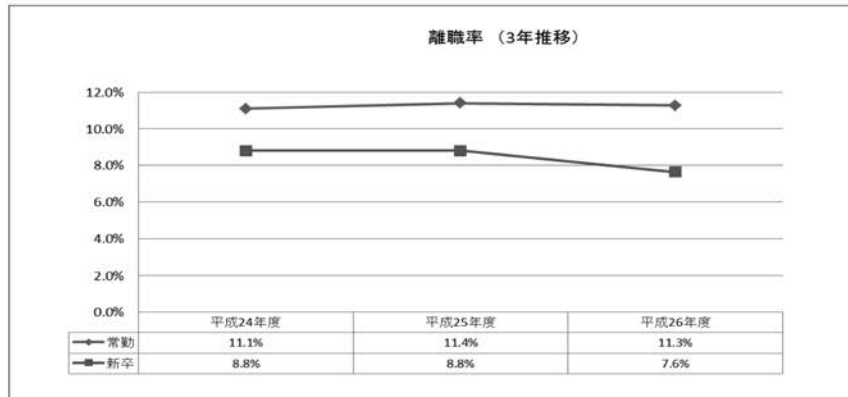
千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛	利根	山武	長夷	君津	安房	無回答
30	9	27	15	9	24	12	13	6	11	10	10	1
16.9%	5.1%	15.3%	8.5%	5.1%	13.6%	6.8%	7.3%	3.4%	6.2%	5.6%	5.6%	0.6%

(イ) 稼働病床数

	一般病棟	療養病棟	結核病棟	精神病棟	その他
許可稼働数	26,224	5,637	112	7,547	2,815
稼働病床数	23,043	4,596	88	6,059	2,412

(ウ) 常勤看護職員の離職率 11.3%

(エ) 新卒看護職員の離職率 7.6%



(オ) 1カ月当たりの超過勤務時間が、「60時間以上」の常勤看護職員数(非管理職) (2014年4月分の実績)

	あり	人数		なし	無回答
病棟	1	1	172	3	3
外来	1	-	172	3	3

(カ) 看護職員の超過勤労働を減らす具体的な対応策(複数回答)

対策している (n= 155)							対策していない	無回答
看護職員の増員	看護職員以外の職員の増員	看護職員の業務分担の見直し	看護職員と他職種との業務調整	業務量に応じた柔軟な人員配置	その他			
155	79	91	129	108	89	14	18	4
87.6%	51.0%	58.7%	83.2%	69.7%	57.4%	9.0%	10.2%	2.3%

その他

<input type="checkbox"/> 時差出勤・終業	<input type="checkbox"/> 各病棟クレーク配置	<input type="checkbox"/> 当日の応援体制
<input type="checkbox"/> 遅出勤務の配置	<input type="checkbox"/> 承認早退制度	<input type="checkbox"/> 非常勤の病棟配置
<input type="checkbox"/> 記録の見直し	<input type="checkbox"/> 部署間の応援体制	<input type="checkbox"/> 業務改善
<input type="checkbox"/> 勤務時間の見直し	<input type="checkbox"/> 時間外勤務原因調査	
<input type="checkbox"/> パート職員の増員	<input type="checkbox"/> パートナーシップナーシングシステム	

(キ) 多様な勤務形態導入状況(複数回答)

導入している (n= 127)											導入していない	無回答
フレックス タイム	ジョブ・ シェアリン グ	時差出勤 終業	在宅勤務	学期間 労働	期間限定 労働時間 短縮	年間労働 時間 契約制	圧縮労働 時間制	短時間 正職員 制度	その他			
127	20	0	75	1	6	28	6	4	58	10	45	4
71.8%	15.7%	0.0%	59.1%	0.8%	4.7%	22.0%	4.7%	3.1%	45.7%	7.9%	25.4%	2.3%

その他

- | | |
|--|---|
| <input type="radio"/> 夜勤免除
<input type="radio"/> 短時間パート職員
<input type="radio"/> 一部12時間夜勤導入 | <input type="radio"/> 日勤常勤、夜勤専従
<input type="radio"/> 3交替、2交替選択制 |
|--|---|

(ク) 育児・介護休業法の改正に伴う取り組み

取り組んでいる (n= 155)							取り組んでいない	無回答
看護職員の増員	看護職員 以外の職 員の増員	看護職員 の業務分 担の見直 し	看護職員 と他職種 との業務 調整	業務量に 応じた柔 軟な人員 配置	その他			
155	85	59	82	59	98	22	19	3
87.6%	54.8%	38.1%	52.9%	38.1%	63.2%	14.2%	10.7%	1.7%

その他

- | | | |
|--|--|---|
| <input type="radio"/> 育児短時間・部分休業
<input type="radio"/> 短時間勤務
<input type="radio"/> 院内保育室の充実、デイサービスの利用
<input type="radio"/> ナースサポート業務の採用(検査技師・臨床心理士)
<input type="radio"/> 子育て支援プロジェクトにて、育児休暇中の職員への情報提供や子育てミーティング等開催 | <input type="radio"/> 24時間保育室常設
<input type="radio"/> 育児・介護休暇 | <input type="radio"/> 他部署からの応援
<input type="radio"/> 子供看護休暇
<input type="radio"/> 実働時間計算による人員配置 |
|--|--|---|

(ケ) 看護職員の卒後の教育研修体制

a. 教育部門の教育研修責任者の配置状況

配置あり	(内訳 n= 155)				配置なし
	専従	専任	両方	無回答	
150	35	115	0	0	27
84.7%	19.8%	65.0%	0.0%	0.0%	15.3%

b. 病棟・外来の教育研修担当者(プリセプターを除く)配置状況

配置あり	(内訳 n= 134)			配置なし	無回答
	専従	専任	両方		
134	10	123	1	39	2
75.7%	5.6%	69.5%	0.6%	22.0%	1.1%

c. 新卒看護職員の研修を企画・評価する組織(委員会等)の設置状況

あり	なし	無回答
130	46	1
73.4%	26.0%	0.6%

d.新卒看護職員の教育研修体制について

	業務に支 障なく研 修を受講 できる人 員配置	看護部門 に教育研 修責任者 を配置	病棟、外 来等の部 署単位に 教育研修 担当者を 配置	教育研修 を企画・ 評価する 組織を設 置	病院間連 携による 教育研修 の実施	教育研修 担当者の 資質向上 のための 支援	教育研修 担当者の 業務量へ の配慮	その他	特になし	無回答
すでに 取り組んでいる	78 44.1%	115 65.0%	96 54.2%	123 69.5%	57 32.2%	100 56.5%	54 30.5%	5 2.8%	15 8.5%	14 7.9%
取り組みの拡充・ 新たに開始予定	11 6.2%	10 5.6%	5 2.8%	5 2.8%	15 8.5%	17 9.6%	13 7.3%	2 1.1%	0 0.0%	0 0.0%

その他

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 院内勉強会月1開催
<input type="checkbox"/> 看護協会の研修参加
<input type="checkbox"/> 教育研修担当者の院外研修 | <input type="checkbox"/> 院外研修参加支援
<input type="checkbox"/> 外部よりアドバイザーを招聘 |
|---|---|

e.全看護職員の卒後研修体制のシステム化状況

システム化 されている	システム化 されていない	検討中
83 46.9%	43 24.3%	51 28.8%

f.クリニカルラダー(キャリア開発ラダー) 導入状況

導入 している	導入 していない	検討中	無回答
67 37.9%	65 36.7%	44 24.9%	1 0.6%

(コ) 離職希望者に対する相談窓口の設置等離職防止に向けての体制整備について

できている	(複数回答)				できていない	無回答
	院内に 相談窓口設置	就業協力員の 紹介	千葉県ナース センターの案内	無回答		
84 47.5%	70 39.5%	2 1.1%	18 10.2%	1 0.6%	86 48.6%	7 4.0%

(サ) メンタルヘルスに対する相談体制

a.導入状況

導入 している	導入 していない	検討中	無回答
116 65.5%	28 15.8%	21 11.9%	12 6.8%

b.相談対応者 (複数回答)

専門家	看護部局師長	医師	その他
38 21.5%	64 36.2%	30 16.9%	16 9.0%

その他の対応者

- | | | |
|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> 顧問
<input type="checkbox"/> 保健師
<input type="checkbox"/> 理事 | <input type="checkbox"/> 薬剤師
<input type="checkbox"/> 管理課
<input type="checkbox"/> 検査技師 | <input type="checkbox"/> 教育専任看護師
<input type="checkbox"/> 事務職(事務長・庶務班長) |
|--|---|--|

②看護職の再就業者実態調査

調査目的：ナースセンター事業において再就業した者の実態を把握し、今後の再就業促進に向けた支援方法のあり方を検討する。

調査対象及び調査方法、調査期間

調査対象	調査方法	調査期間
平成25年度千葉県ナースセンター登録の再就業者 (臨時雇用での就業者を除く)	返信用封筒を同封した調査票を 郵送・回収	平成26年9月5日～平成26年9月25日

調査結果の概要

対象者数：135名 回収数：72名 (回答率：53.3%)

ア. 回答者居住地区

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛
23	2	12	10	4	4	10
31.9%	2.8%	16.7%	13.9%	5.6%	5.6%	13.9%
利根	山武	長夷	君津	安房	県外	無回答
1	1	1	0	0	0	4
1.4%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%

イ. 性別

女性	男性	無回答
71	0	1
98.6%	0.0%	1.4%

ウ. 就職時の就業状況

就業中	未就業	無回答
34	38	0
47.2%	52.8%	0.0%

エ. 年齢

	(n=72)	(n=72)		
		未就業 (n=38)	転職 (n=34)	無回答 (n=0)
20代	2	0	2	0
	2.8%	0.0%	5.9%	0.0%
30代	27	17	10	0
	37.5%	44.7%	29.4%	0.0%
40代	26	15	11	0
	36.1%	39.5%	32.4%	0.0%
50代	10	3	7	0
	13.9%	7.9%	20.6%	0.0%
60代	6	3	3	0
	8.3%	7.9%	8.8%	0.0%
無回答	1	0	1	0
	1.4%	0.0%	2.9%	0.0%

オ. 資格

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
8	3	57	2	2
11.1%	4.2%	79.2%	2.8%	2.8%

カ. 未就業者のブランク期間

6か月未満	～1年	～2年	～3年	～4年	～5年	～10年	～15年
12	6	4	1		1	5	5
31.6%	15.8%	10.5%	2.6%	0.0%	2.6%	13.2%	13.2%
～20年	～25年	無回答					
1	1	2					
2.6%	2.6%	5.3%					

キ. 現在勤務している施設で働き続けられている理由(複数回答)

	(n=53)	未就業 (n=25)	転職 (n=28)	無回答 (n=0)
再就業支援のプログラムがあった	3 5.7%	2 8.0%	1 3.6%	0 0.0%
プリセプターがついてくれる	2 3.8%	1 4.0%	1 3.6%	0 0.0%
看護ケアが充実している	1 1.9%	0 0.0%	1 3.6%	0 0.0%
キャリアアップの機会がある	1 1.9%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%
医療安全対策が充実している	1 1.9%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%
上司との関係が良い	14 26.4%	9 36.0%	5 17.9%	0 0.0%
同僚との関係が良い	16 30.2%	11 44.0%	5 17.9%	0 0.0%
勤務時間が自分の生活スタイルに合っている	37 69.8%	19 76.0%	18 64.3%	0 0.0%
短時間勤務ができる	16 30.2%	10 40.0%	6 21.4%	0 0.0%
夜勤を軽減・免除する体制がある、 又は夜勤がない	16 30.2%	12 48.0%	4 14.3%	0 0.0%
休暇が取りやすい	22 41.5%	10 40.0%	12 42.9%	0 0.0%
給与が希望にあっている	6 11.3%	1 4.0%	5 17.9%	0 0.0%
通勤に便利	30 56.6%	13 52.0%	17 60.7%	0 0.0%
福利厚生が充実している	2 3.8%	1 4.0%	1 3.6%	0 0.0%
子育て支援策が充実している	1 1.9%	0 0.0%	1 3.6%	0 0.0%
家族の支援がある	4 7.5%	2 8.0%	2 7.1%	0 0.0%
その他	6 11.3%	2 8.0%	4 14.3%	0 0.0%

- その他: 【未就業】 ・これまでのキャリアが活かせる
 【転職】 ・仕事内容が自分のスキルにあっている
 ・6ヶ月間の期間限定の雇用

ク. 就職活動で利用した職業紹介所等について(複数回答)

	(n=72)	未就業 (n=38)	転職 (n=34)	無回答 (n=0)
千葉県ナースセンター	57 79.2%	33 86.8%	24 70.6%	0 0.0%
公共職業安定所、ジョブカフェ等	31 43.1%	18 47.4%	13 38.2%	0 0.0%
民間の就職あっせん業者	29 40.3%	15 39.5%	14 41.2%	0 0.0%
派遣業者	8 11.1%	2 5.3%	6 17.6%	0 0.0%
その他	19 26.4%	10 26.3%	9 26.5%	0 0.0%

その他:【未就業】新聞折り込み広告、インターネット求人、私学求職ネット、広報
東京都ナースプラザ

【転職】新聞折り込み広告、直接問合せ、東京都ナースプラザ
浦安新聞、病院HP、とらばーゆ看護

ケ. 再就業のきっかけ(複数回答)

	(n=72)	未就業 (n=38)	転職 (n=34)	無回答 (n=0)
今までに得た職業経験や技術・資格を活かす	38 52.8%	22 57.9%	16 47.1%	0 0.0%
専門的な経験をより高めたい	8 11.1%	2 5.3%	6 17.6%	0 0.0%
社会に出たい	23 31.9%	16 42.1%	7 20.6%	0 0.0%
友人・知人にすすめられた、誘われた	4 5.6%	1 2.6%	3 8.8%	0 0.0%
生活費のため	27 37.5%	13 34.2%	14 41.2%	0 0.0%
子育てが一段落し、自由な時間ができた	12 16.7%	9 23.7%	3 8.8%	0 0.0%
将来や老後への備えた貯蓄	13 18.1%	7 18.4%	6 17.6%	0 0.0%
自分で自由に使える収入を得る	8 11.1%	2 5.3%	6 17.6%	0 0.0%
教育費や住宅費(住宅ローンを含む)のため	16 22.2%	8 21.1%	8 23.5%	0 0.0%
その他	7 9.7%	3 7.9%	4 11.8%	0 0.0%

その他:【未就業】・セカンドキャリアを生かしたい
・働けるうちは社会に関わっていたい
・保育園を継続させたかった

【転職】・実家が近い
・子育てに集中しようと思ったが、暇すぎてあきた
・このまま継続して仕事をしたら、体が壊れると思った
・夫の転勤

コ. 就職先決定の決め手(複数回答)

	(n=72)			
		未就業 (n=38)	転職 (n=34)	無回答 (n=0)
看護領域・看護内容・業務内容	26	15	11	0
	36.1%	39.5%	32.4%	0.0%
勤務時間	48	28	20	0
	66.7%	73.7%	58.8%	0.0%
再就業の支援プログラム	2	1	1	0
	2.8%	2.6%	2.9%	0.0%
立地(通勤に便利な場所等)	45	22	23	0
	62.5%	57.9%	67.6%	0.0%
子育て支援	4	3	1	0
	5.6%	7.9%	2.9%	0.0%
保育施設	1	1	0	0
	1.4%	2.6%	0.0%	0.0%
キャリアアップ支援	1	0	1	0
	1.4%	0.0%	2.9%	0.0%
給与	18	7	11	0
	25.0%	18.4%	32.4%	0.0%
休日・休暇制度	13	9	4	0
	18.1%	23.7%	11.8%	0.0%
宿舎・寮	1	0	1	0
	1.4%	0.0%	2.9%	0.0%
家族の支援・同意	3	2	1	0
	4.2%	5.3%	2.9%	0.0%
その他	5	2	3	0
	6.9%	5.3%	8.8%	0.0%

その他：【未就業】希望通りの仕事内容、再就業講習会を受講した施設

【転職】見学時の雰囲気、希望の職種

期間限定雇用(条件があれば常勤移行)

4 医療・看護における安全対策

医療安全推進週間の推進

第9回 医療安全大会の開催

- (1) 目的 : 県民への安全・安心な医療・看護の提供に寄与することを目的に、医療安全推進週間に
関する行事として医療安全大会を開催し、医療従事者の意識の向上と組織的取り組みの
促進から医療安全の普及啓発を図る。
- (2) テーマ : 「多職種連携で前進する医療安全」
- (3) 日時 : 平成26年11月3日(月) 11:00～15:40
- (4) 会場 : 幕張メッセ国際会議場 (国際会議室・中会議室201)
- (5) 参加人数 : 527名(看護職357名、他職種87名、関係者83名)
- (6) 内容 :

①標語の表彰式

優秀賞 「つなげよう多職種の手 広げよう安全の輪」 成田赤十字病院 医療安全推進室
佳作 「多職種で 高める意識 防ぐ事故」 東邦大学医療センター佐倉病院 武笠 智美
「多職種の心をひとつに安全文化」 玄々堂君津病院 安全対策委員会

②基調講演

「医療版失敗学」のすすめ～インシデントから学び、真の医療安全にトライする～

講師：濱口 哲也（東京大学大学院工学系研究科特任教授）

③パネルディスカッション 医療版失敗学を多職種で取り組むためには

パネリスト：医師 長谷川 譲（東京慈恵会医科大学附属柏病院）
薬剤師 小坂 好男（東京女子医科大学附属八千代医療センター）
臨床工学技士 堀 和芳（国保小見川総合病院）
看護師 遠山美智子（国保直営総合病院君津中央病院）

④医療安全対策関連企業の展示及び説明

- ・中会議室201：企業展示・体験コーナー（7社）
- ・国際会議室：ランチョンセミナー（7社）

(7) まとめ :

昨年に引き続きテーマを「多職種連携で前進する医療安全」とし、他職種への参加を呼び掛けた。医療安全大会も10回を迎え徐々に周知されてきたこともあり、他職種の参加も増えてきたことがうかがえる。今後も多職種での参加に向けて引き続き広報するとともに、医療安全委員等を通じて関係他職種団体と連携を考えていく。

医療安全に関する標語、ポスターでの普及啓発

(1) 医療安全に関する標語

応募数 522作品

(2) 医療安全ポスター

医療安全に関する標語の優秀標語と優秀賞受賞施設職員の写真を組み合わせたポスターを作成。
県内医療機関や会員施設(団体)に配布。

(3) まとめ :

優秀標語と優秀賞受賞施設職員の写真を組み合わせたポスターを作成し、好評を得ている。

医療安全管理者の育成

医療安全担当者交流会の開催

(1) 目 的 :

県内の医療安全担当者間の情報共有とスキルアップの支援をすることにより、県民に安全・安心な質の高い医療・看護を提供する。今回は、平成26年6月に医療法の改正により制度化され、平成27年10月からスタートする「医療事故調査制度」に焦点をあて、制度について学ぶとともに、誰もが遭遇しうる医療事故発生時の対応について深め、現場に即した実践力をより高める。

(2) 日 時 : 平成27年2月26日(木) 10:00~16:00

(3) 会 場 : 千葉県看護会館 2階大研修室

(4) 参加人数 : 106名(参加者94名・関係者12名)

(5) 内 容 :

講演① 千葉県における医療安全対策の現状と課題

斎藤徹也(千葉県健康福祉部医療整備課医療指導班班長)

講演② 医療事故調査制度の概要と法的観点からの医療事故発生時の対応

稲葉一人(中京大学法科大学院教授)

グループワーク 「医療安全担当者として活動している上での悩み、課題」

ファシリテーター:医療安全委員(看護職4名)

県内専従医療安全管理者(2名)

(6) ま と め :

事業目的である情報共有についてはグループワークを通して交流することができ、スキルアップについても講演を通して支援ができた。ただ、専従の医療安全担当者と兼任では、問題の視点やニーズが異なることから、グループワークにおけるグループ編成にあたり、どのレベルを対象とするかが課題である。

Ⅲ 訪問看護の推進に関する事業

1 訪問看護推進事業

(1)訪問看護推進協議会の開催 (委員14名)

2回開催：11月14日、3月9日

(2)訪問看護に関する総合相談

相談日：月～金 9：00～17：00

相談件数：85件

相談者：看護師、介護支援専門員等専門職（訪問看護サービスに関すること）

県民（介護に関すること）

相談内容等	件数
介護に関する内容	0
訪問看護サービス	56
処置に関する内容	1
管理業務・不安	1
運営管理	13
その他	14
計	85

相談者内訳	件数
県民	20
看護職	37
その他の専門職	28
計	85

(3) 訪問看護の普及啓発

①地域連携フォーラムの開催（地区別開催：君津地区・千葉地区）

目的：宅医療の中核を担う訪問看護の役割を地域に浸透するために、在宅ケアに関わる職種との意見交換等を行い、訪問看護の役割について理解を深める。その中で、訪問看護師と病院等の看護師、訪問看護師と介護支援専門員が連携をすることで、訪問看護についての理解を深め訪問看護が円滑に導入されることを目的に開催する。

君津地区：「看看ケアマネ連携～一緒に利用者さんの生活を考えませんか～」																																																	
開催日時	9月13日（土）13：30～16：30																																																
場 所	君津中央病院4階講堂																																																
内 容	<p>グループディスカッション、全体討議、まとめ <ファシリテーター></p> <p>君津中央病院 地域医療センター訪問看護室師長 杉原 幸子 さつき台訪問看護ステーション 所長 平松 春奈 君津訪問看護ステーション 所長 阿部 環 メディケアー君津訪問看護ステーション 所長 竹井由美子 望みの門訪問看護ステーション 所長 渡邊 零子 さつき台訪問看護ステーション 指導者 平間 葉子</p>																																																
参加者	<p>61名（ファシリテーター6名、事務局5名含む） 地域・勤務先別参加者内訳（ファシリテーター・事務局含まず）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>病院</th> <th>ST</th> <th>包括</th> <th>老健</th> <th>特養</th> <th>居宅</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木更津市</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>8</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>君津市</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>10</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>富津市</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>袖ヶ浦市</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>25</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>		病院	ST	包括	老健	特養	居宅	計	木更津市	3	7	3			8	21	君津市	2	2		2		10	16	富津市	1	1		1		2	5	袖ヶ浦市		3				5	8	計	6	13	3	3	0	25	50
	病院	ST	包括	老健	特養	居宅	計																																										
木更津市	3	7	3			8	21																																										
君津市	2	2		2		10	16																																										
富津市	1	1		1		2	5																																										
袖ヶ浦市		3				5	8																																										
計	6	13	3	3	0	25	50																																										

千葉地区：「看看連携～一緒に利用者さんの退院後の生活を考えませんか～」																																	
開催日時	1月17日（土） 13：30～16：30																																
場 所	千葉県看護会館 大研修室																																
内 容	講演 ・地域包括ケア病棟の取組み 最成病院 退院調整看護師 奥村恵美子 ・退院後の訪問看護支援の現状 まくはり訪問看護ステーション 所長 佐藤 富子 グループディスカッション ・私の退院支援はこれで良かったの？訪問看護師に聞いてみよう																																
参 加 者	44名（講師・ファシリテーター・事務局15名含む） 地域・勤務先別参加者内訳（講師・ファシリテーター・事務局含まず）																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>病院</th> <th>ST</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央区</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>花見川区</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>稲毛区</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>若葉区</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緑 区</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>美浜区</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>25</td> <td>4</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table>		病院	ST	計	中央区	11	2	13	花見川区	2	0	2	稲毛区	5	2	7	若葉区	1	0	1	緑 区	5	0	5	美浜区	1	0	1	計	25	4	29
	病院	ST	計																														
中央区	11	2	13																														
花見川区	2	0	2																														
稲毛区	5	2	7																														
若葉区	1	0	1																														
緑 区	5	0	5																														
美浜区	1	0	1																														
計	25	4	29																														

②訪問看護就職フェアの開催

目 的：在宅医療の中核を担う訪問看護師の活躍が期待される中、千葉県は訪問看護師の人材が不足しており、訪問看護師の人材確保が課題である。当協会が質の高い訪問看護を、安定的に供給するために実施している訪問看護実践センター事業の人材育成において、訪問看護師を希望する看護学生・潜在看護師等を確保するために、看護師等学校養成所の教員や看護学生・潜在看護師等が、訪問看護師の仕事について理解を深め、県内の訪問看護ステーションへの就職促進を図るために標記フェアを開催する。

開催日時	12月13日（土） 12：30～17：00																																																																																																						
場 所	千葉県看護会館 大研修室・中研修室																																																																																																						
テ ー マ	訪問看護師になりたいあなたを応援します～新卒・子育て中で現場を離れていても・介護中でも大丈夫～																																																																																																						
内 容	講演 「あなたの笑顔とケアを訪問看護に活かしませんか」 日本訪問看護財団 認定看護師教育課程（訪問看護）主任教員 平野和恵 報告 「千葉県の訪問看護ステーションは頑張っています」 千葉県訪問看護ステーション連絡協議会 会長 権平くみ子 訪問看護就職相談、技術体験、人材育成事業の説明																																																																																																						
参 加 者	112名 一般参加者71名（看護職41名、教員7名、学生22名、ケアマネ1名） 就職相談コーナー参加事業所16事業所28名 講師・事務局13名																																																																																																						
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【一般参加者(看護職41名)の地域別内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療圏</th> <th>市町村名</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>千 葉</td><td>千 葉</td><td>12</td></tr> <tr><td></td><td>市 川</td><td>1</td></tr> <tr><td>東葛南部</td><td>船 橋</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>習志野</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>浦 安</td><td>2</td></tr> <tr><td>東葛北部</td><td>流 山</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>柏</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>松 戸</td><td>2</td></tr> <tr><td>香取海匝</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>印 旛</td><td>佐 倉</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>四街道</td><td>3</td></tr> <tr><td>山武長生夷隅</td><td>東 金</td><td>1</td></tr> <tr><td>安 房</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>君 津</td><td>木更津</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>袖ヶ浦</td><td>2</td></tr> <tr><td>市 原</td><td>市 原</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>東 京</td><td>7</td></tr> <tr><td></td><td>不 明</td><td>1</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>41</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【就職相談コーナー参加事業所内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療圏</th> <th>市町村名</th> <th>参加事業所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>千 葉</td><td>千 葉</td><td>7</td></tr> <tr><td></td><td>市 川</td><td>1</td></tr> <tr><td>東葛南部</td><td>船 橋</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>習志野</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>八千代</td><td>1</td></tr> <tr><td>東葛北部</td><td>松 戸</td><td>2</td></tr> <tr><td>香取海匝</td><td>匝 瑳</td><td>1</td></tr> <tr><td>印 旛</td><td>四街道</td><td>1</td></tr> <tr><td>山武長生夷隅</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>安 房</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>君 津</td><td>木更津</td><td>1</td></tr> <tr><td>市 原</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>16</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>	医療圏	市町村名	参加者数	千 葉	千 葉	12		市 川	1	東葛南部	船 橋	1		習志野	2		浦 安	2	東葛北部	流 山	1		柏	2		松 戸	2	香取海匝	-	0	印 旛	佐 倉	3		四街道	3	山武長生夷隅	東 金	1	安 房	-	0	君 津	木更津	1		袖ヶ浦	2	市 原	市 原	0	その他	東 京	7		不 明	1	計		41	医療圏	市町村名	参加事業所数	千 葉	千 葉	7		市 川	1	東葛南部	船 橋	1		習志野	1		八千代	1	東葛北部	松 戸	2	香取海匝	匝 瑳	1	印 旛	四街道	1	山武長生夷隅	-	0	安 房	-	0	君 津	木更津	1	市 原	-	0	計		16
医療圏	市町村名	参加者数																																																																																																					
千 葉	千 葉	12																																																																																																					
	市 川	1																																																																																																					
東葛南部	船 橋	1																																																																																																					
	習志野	2																																																																																																					
	浦 安	2																																																																																																					
東葛北部	流 山	1																																																																																																					
	柏	2																																																																																																					
	松 戸	2																																																																																																					
香取海匝	-	0																																																																																																					
印 旛	佐 倉	3																																																																																																					
	四街道	3																																																																																																					
山武長生夷隅	東 金	1																																																																																																					
安 房	-	0																																																																																																					
君 津	木更津	1																																																																																																					
	袖ヶ浦	2																																																																																																					
市 原	市 原	0																																																																																																					
その他	東 京	7																																																																																																					
	不 明	1																																																																																																					
計		41																																																																																																					
医療圏	市町村名	参加事業所数																																																																																																					
千 葉	千 葉	7																																																																																																					
	市 川	1																																																																																																					
東葛南部	船 橋	1																																																																																																					
	習志野	1																																																																																																					
	八千代	1																																																																																																					
東葛北部	松 戸	2																																																																																																					
香取海匝	匝 瑳	1																																																																																																					
印 旛	四街道	1																																																																																																					
山武長生夷隅	-	0																																																																																																					
安 房	-	0																																																																																																					
君 津	木更津	1																																																																																																					
市 原	-	0																																																																																																					
計		16																																																																																																					

③リーフレットの配布

目的：訪問看護を必要とする在宅療養者に、訪問看護サービスを適切に導入し、より安定した療養生活を送れるよう、ケアマネジャー等専門職に訪問看護サービスの利用方法、内容等について理解してもらい、訪問看護の普及啓発を図る。

配布先：「マイ・ナースとつくる安全で安心な在宅での生活」（県民向け）

看護の日（5/17）に中央行事（千葉地区）と11地区部会行事で1,400部配布

「訪問看護利用の手引き」（専門職向け）

病院、診療所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、健康福祉センター

市町村、訪問看護ステーション、看護学校等

【まとめ】

- ・訪問看護に関する総合相談については、訪問看護指示書、グループホーム・施設への訪問、加算の算定、事業所の開設等、専門的な質問が看護職や事務系職員等から多くあり、新規開設訪問看護ステーションの増加が背景にあると思われる。
- ・病院の看護職と訪問看護師との連携や、看護職とケアマネジャーとの連携を目的に地域連携フォーラムを2ヶ所の地区で開催した。各地域で地域包括ケアシステムの構築が進み、各市町村で多職種連携の会が開催されているが、本フォーラムはその前段での看看連携が必要と考えて開催し、2地区共に看護職同志の連携の必要性が再認識された。
- ・訪問看護就職フェアは一般参加が71名であり、講演を聞いて訪問看護の現状が分かり、訪問看護師として働いてみようという気持ちになったとの感想が多く聞かれた。訪問看護師の仕事に興味はあるが知識、技術に不安があり、行動に移せない看護職に、このような場を今後も提供していく。

2 訪問看護実践センター事業

(1)訪問看護師人材育成事業

①訪問看護師育成事業

ア「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業

○平成26年度支援対象者11名：新卒者2名(1年目)・1名(2年目) 潜在(チャレンジ)看護師等8名

6ヶ所の訪問看護ステーション

- ・修了者 5名：潜在(チャレンジ) 看護師等4名 新卒者1名(2年目)
- ・終了者 3名：新卒者2名(1年目) 潜在(チャレンジ) 看護師等1名
- ・支援中 3名：潜在(チャレンジ) 看護師等3名

○振り返りカンファレンス68回、学習支援者会議36回

○看護技術研修14回（褥瘡1回、膀胱留置カテーテル1回、吸引3回、摘便2回、制度3回、胃瘻2回、採血1回、ROM(他動運動)1回)

○訪問看護実践研修 5コース（うち外部研修3コース）

○実務研修 5ヶ所（わかば訪問看護ステーション、船橋二和病院、つばさ在宅クリニック、さつき台訪問看護ステーション、訪問看護ステーションたんぼぼ）

○育成プログラムの評価会議の開催 2回（6/30、2/17）

議題：新卒者等訪問看護師育成プログラム評価について

○育成プログラムに関する問い合わせ

支援対象者 17件（新卒5件、既卒3件、潜在3件、異動・転職6件）

他県看護協会等 20件

イ 訪問看護師指導者研修会の開催

開催日	内 容	受講者
2月21日（土）	<p>新任・新卒訪問看護師育成の意義及び指導者としての役割を理解し、効果的に育成できるよう管理者及び指導者が必要な知識・技術を習得し実践できる能力を養う。</p> <p>講師：千葉大学大学院看護学研究科 特任教授 長江 弘子 千葉大学大学院看護学研究科 講師 辻村真由子</p>	30名

ウ 訪問看護師養成講習会「訪問看護研修ステップ1」の開催

開催日	内 容	受講者
7月1日～	eラーニング受講開始（受講期間：11月末まで）	44名 (全課程 修了42名)
7月2日（水）	<p>○開講式</p> <p>○講義1「訪問看護展開論」 講師：緑が丘訪問看護ステーション 所長 山崎潤子</p>	
11月15日（土）	<p>○講義2「訪問看護におけるフィジカルアセスメント」 講師：ふたわ訪問看護ステーション 所長 佐々木ゆかり まくはり訪問看護ステーション 所長 佐藤富子 ※公開研修としても実施（県内267ステーションへ通知、54名参加）</p>	
12月～1月	○実習2日間（26ヶ所の訪問看護ステーションに受入依頼）	
2月13日（金）	<p>○講義3「在宅ターミナルケア」 講師：看護協会ちば訪問看護ステーション 所長 権平くみ子</p> <p>○修了報告会 ○閉講式</p>	

②訪問看護師スキルアップ研修会

ア 質を高める研修会の開催

開催日	内 容	受講者
6月14日（土）	<p>神経難病看護～ALSを中心に～</p> <p>○神経難病疾患の理解と在宅療養支援のポイント 講師：黒砂台診療所 所長 沖田伸也</p> <p>○ALS利用者への訪問看護の実際 ～在宅療養生活を維持していくためのケアについて～ 講師：看護協会ちば訪問看護ステーション 豊田智生</p>	57名
10月25日（土）	<p>基礎から学ぼう小児訪問看護 ～病棟・在宅に共通する小児看護の役割・目標～</p> <p>○小児看護 病棟・在宅に共通する役割と目標 講師：千葉大学大学院看護学研究科小児看護学教育研究分野 教授 中村伸枝</p> <p>○現場に活かす小児看護倫理 講師：千葉県千葉リハビリテーションセンター 看護局長 荒木暁子</p> <p>○障害のある子どもを持つ養育者の心理と訪問看護師の役割 講師：医療法人社団麒麟会 統括マネジャー 谷口由紀子</p>	38名

イ 管理者研修会の開催

開催日	内容	受講者
8月30日（土）	訪問看護ステーション管理運営研修 ○地域に選ばれる訪問看護ステーションになるための質評価と管理者の役割 講師：千葉大学大学院看護学研究科 特任教授 長江弘子 ○看護管理者の人材育成役割と方法及び千葉県看護協会・大学による支援の状況 講師：千葉大学大学院看護学研究科 教授 吉本照子 ○成人学習者としてのスタッフの的確なアセスメントにもとづく効果的な学習支援 講師：千葉大学大学院看護学研究科 講師 辻村真由子	28名

③ 退院支援研修会

開催日	内容	受講者
7月25日（金）	○在宅医療の現状と退院支援に関する基礎知識 講師：聖路加国際大学 教育センター生涯教育部長 山田雅子 ○退院調整を行う病院（看護師）の立場から 講師：千葉大学医学部付属病院 地域医療連携部看護師長 加瀬千鶴	76名
7月26日（土）	○訪問看護ステーションの立場から 講師：カンナ訪問看護ステーション 所長 柴崎ゆかり ○ケアプランを作成するケアマネジャーの立場から 講師：カンナ訪問看護ステーション ケアマネジャー 福井みさ江 ○訪問診療医師の立場から 講師：のぞみの花クリニック 医師 古賀友之	
8月1日～9月5日	県内訪問看護ステーションでの実習1日間 （44ヶ所の訪問看護ステーションに受入れ依頼）	
9月9日（火）	○臨地実習報告会 講師：船橋中央病院 退院支援室 伊藤孝行 ○退院時共同カンファレンスについて	

【まとめ】

- ・育成プログラムの支援対象者は、実践経験など様々な背景があるので、支援対象者の理解ができるようなアセスメントシートを作成し、支援対象者に即した支援方法を検討していく。また、振り返りカンファレンスで自己の看護実践を客観的に振り返ることができ、実務研修（他施設での研修）で多職種との連携や訪問看護師に期待されることを理解することができた。振り返りカンファレンスや実務研修は、効果的な支援方法の一つであると言える。
- ・育成プログラムに基づく学習支援方法を導入することで、事業所内の学習へのモチベーションが高まり、教育体制の整備や看護の質の向上につながるができる。
- ・訪問看護の仕事を理解することができる訪問看護師養成講習会等は、病院の看護職に関心がある研修であり、今後も継続していく必要がある。

(2)訪問看護ステーションIT化等促進事業

①「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」導入支援事業

ア「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の普及

○ソフト導入事業所 15事業所

○パンフレットの配布

千葉県健康福祉部保険指導課介護事業所指導班、

千葉市保健福祉局高齢障害部介護保険課を訪問し、配布を依頼

○ソフトについての説明・展示

- ・千葉県訪問看護ステーション連絡協議会総会(5/10)での説明
- ・訪問看護師人材育成事業の研修会「神経難病看護(6/14)、訪問看護ステーション管理運営研修(8/30)」での展示
- ・千葉県看護研究学会 (2/20) での展示説明

○看護ちばへの記事掲載 (7/1発行号、1/1発行号)

看護協会未加入事業所(141ヶ所)へ看護ちば7/1発行号、ソフトパンフレット、入会申込書を同封し送付

○ソフトに関する問い合わせ状況 14件

(ソフトの機能の詳細、試用したい 等)

イ 「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」導入支援

- ・ソフト試用を希望する訪問看護ステーションに対し、iPadを貸出

保有台数：8台 (iPad 6台、iPadmini 2台) 貸出期間：最長1ヶ月間 貸出台数：1事業所当たり4台まで 貸出状況：8事業所、29台

② 「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」オープン化事業

経営診断シミュレーションシステムの普及啓発

- ・千葉県訪問看護ステーション連絡協議会総会 (5/10) での説明
- ・看護協会会員事業所 (93ヶ所) へ経営診断シミュレーションシステムを使用するための操作マニュアル、ログイン情報「アカウント、パスワード」を送付 (7/8)

③ 訪問看護に係るデータベース化事業

ア 検討委員会の設置 (委員6名)

目的：平成24・25年度の2か年事業で開発した「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の利用により協会に集約されるデータを基に、安全で質の高い看護を提供するために、訪問看護に関する質的評価、標準化等を行う実践センターシステムの構築を目的とする。

イ 会議開催状況 4回 (8/21、9/25、11/10、1/21)

議題：訪問看護に係るデータベース化事業について

訪問看護の質的評価の評価指標について

訪問看護に係るデータベース化事業における訪問看護の質的評価指標

○システムの概要

「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」を活用している訪問看護ステーションのデータを協会が集約し、そのデータを基に、訪問看護の質的評価等を行えるよう、ソフトが蓄積した訪問看護ステーションのデータをデータベースから出力する。

○評価指標の一例

	名 称	項 目 内 容
1	クロス集計データ	疾患、要介護度、家族人数、ケア状況の選択式 絞り込み条件を使用してクロスさせる。
2	別表7の項目	厚生労働大臣が定める疾病等の利用者 別表第7の件数
3	別表8の項目	厚生労働大臣が定める疾病等の利用者 別表第8の件数
4	年齢	3.6.18.39歳以下、 65~75.~80.~85.~90.~95.~100と100歳以上
5	要介護度	要支援1.2、要介護1.2.3.4.5
6	寝たきり度	J1.J2.A1.A2.B1.B2.C1.C2
7	独居利用者数	同居人数が0人の利用者数
8	医療保険・介護保険の割合	医療保険、介護保険の集計値
9	看取りの件数	死亡場所が「自宅」と入力された数
10	緊急訪問の件数	予定外に訪問している数（医療介護別）
11	ターミナルケア加算	医療保険の「ターミナルケア療養費」と 介護保険の「ターミナルケア加算」の集計値
12	サービスコード別	介護保険のサービスコード I-1. I-2. I-3. I-4. I-4長. I- 5. I-5・2長の集計値
13	ケア項目	経口摂取食事介助、経口摂取内服介助、吸引(気管内)、 清拭、手浴足浴、入浴シャワー浴、洗髪、上肢下肢端 坐位、嚥下、発声、自己導尿、摘便、浣腸、看取り、 グリーンケア
14	医療処置	在宅酸素療法、気管カニューレ、人工呼吸器、経鼻経 管栄養、胃瘻・腸瘻、中心静脈栄養、腹膜透析、血液 透析、腎瘻・膀胱瘻、膀胱留置、人工肛門、人工膀胱 (ウロストミー)、褥瘡、注射、点滴、オピオイド
15	人工呼吸器の使用者数	人工呼吸器の使用者数の集計値
16	夜間の訪問件数	夜間の訪問件数の集計値
17	土日の訪問件数	定期と緊急を分けた土日の訪問件数の集計値
18	褥瘡のステージ別	未確認、ステージ I. II. III. IV、疑DTI、判定不能、評価 なし別
19	身体、心理、社会	訪問看護計画書における問題の上げ方の 「身体」「心理」「社会」の件数（利用者毎）
20	利用者個別のデータ	自事業所の利用者個別の看護問題の評価、訪問回数

【まとめ】

- ・導入支援については、「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」に興味を示した事業所に対し、iPadを貸し出し、ソフトを試用してもらっている。しかし、訪問看護事業所にとっては、ソフトの使用により得られるメリットより、ソフト導入に伴う費用の捻出（現在使用中のソフト解約費用、iPad購入費用等）の問題が大きい様子があり、見積もり後、導入につなげていくことは難しい状況である。今後、ソフトの使用により得られるメリットを示していく必要がある。
- ・経営診断シミュレーションシステムについては、県内の訪問看護事業所は経営状況が不安定な小規模事業所が多いことから、経営診断シミュレーションシステムがさらに使用されるよう、使用方法、効果等を普及啓発していく。
- ・データベース化事業については、訪問看護に関する質的評価指標が検討され決定した。今後、千葉県看護協会版訪問看護ソフトを使用している事業所では、看護の質の評価ができるようになる。

(3)訪問看護実践センター事業の普及啓発

学会発表 第45回（平成26年度）日本看護学会

領 域	開 催 日 / 場 所	表 題
看護教育	9月17日（水）、18日（木） 新潟県／新潟コンベンションセンター	新卒者等訪問看護師育成プログラムを受けた新卒者の学習行動
在宅看護	10月2日（木）、3日（金） 山形県／山形テルサ	業務効率化に向けて開発した千葉県看護協会版訪問看護ソフトの効果について

【まとめ】

- ・平成24・25年度にかけて作成した「新卒者等訪問看護師育成プログラム」と「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」はそれぞれ複数の訪問看護ステーションで活用し、その評価を上記で発表した。共に、他県に先駆けて作成したものであり、今後は育成プログラムにおける成果や訪問看護ソフトのメリットを伝え、多くの訪問看護ステーションに活用してもらえるように広報していく。

IV 県民の健康・福祉の増進に関する事業

1. 「看護の日」「看護週間」事業

第24回県民が集う「看護の日」

(1)目的：

県民が集う「看護の日」として、県民一人ひとりが看護についての関心と理解を深めると共に、県民とともにあゆむ信頼される看護のイメージづくりを図り、健康で安心して暮らせる社会づくりの実現に寄与する。

(2)テーマ：「地域で輪となりつなげる看護」

(3)開催日及び会場

①日 時：平成26年5月17日(土) 12：00～16：30

②会 場：中央行事 アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張> ※千葉地区部会と共同開催

地区部会行事 県内11ヶ所

(4)内容及び参加人数

①中央行事

○開会式 主催者挨拶

千葉県看護功労者知事表彰式（表彰者21名）

看護体験記 入賞作品表彰式

<看護を体験して>

優秀賞 淑徳大学 岡島 杏

佳 作 千葉国際高等学校 半田 千夏

佳 作 千葉県立東金高等学校 三沢 彩香

<看護師への道>

優秀賞 総合病院国保旭中央病院 名雪 里香

佳 作 総合病院国保旭中央病院 板橋朱麻留

佳 作 成田赤十字看護専門学校 関 香織

<看護師として>

優秀賞 成田赤十字病院 安野貴美子

佳 作 国立がん研究センター東病院 田川 有美

佳 作 流山市訪問看護ステーション 春山 智巳

<看護を受けた方からのメッセージ>

優秀賞 (公社)認知症の人と家族の会千葉県支部 合江みゆき

○看護体験記 発表（優秀賞4名）

○特別講演 「看護が伝えるつなげる想い ～妹の介護が教えてくれたこと～」

講師：女優・ヘルスケアカウンセラー 石井 苗子氏

<参加者>

589名(内訳 一般 334名、表彰者・来賓等関係者255名)

*一般334名のうち看護学生186名を除き、その他看護体験記表彰者（同行者含む）17名を加えると、実質一般参加者は165名で、全体の28%

保健師のお仕事紹介	11	血圧測定	181
肺年齢測定	248	骨密度測定	206
骨相談	206	体脂肪測定	150
栄養相談	32	健康相談	6
ふれあい看護体験申込	5	進路相談	9
健康体操	116	乳がんモデル	115
がん相談	5	救急対応説明・相談	10
AED体験	50	訪問DVD視聴	10
車いす・トイレ移乗	40	在宅介護体験	30
訪問看護ポスター展示	20	訪問看護相談	2
写真展	270	駅前グッズ配布	414
マタニティ体験(国助)	51	沐浴体験(国助)	46
骨盤ベルト装着(国助)	30	進路相談(国助)	7
育児・思春期・更年期相談(国助)	34	グッズ展示(国助)	137

延べ人数：2,441名

②地区部会行事

○救急時の対応ほか「まちの保健室」

参加者：5,905名(延べ人数)

(5)まとめ

- ・中央行事と地区部会行事の共通実施内容である「AED・救急対応」は好評であり、県民に救急対応を知ってもらう機会となった。また「乳がん自己検診法」は、乳がんモデルが置いてあることで興味を引き、広い年代の方に体験いただけた。また、例年以上に多くの団体の協力を得たことで参加者に多彩な体験を提供できた。
- ・2年目となった看護学生の協力員参加についても、男子学生の国際助産師の日行事への参加等、達成感をもって実施してもらうことができた。
- ・「看護体験記」は、ふれあい看護体験参加高校への声掛けによりこの部門の応募者が昨年の1校7名から7校13名と大幅に増加した。
- ・各種の広報により集客増に努めたが、一般県民の割合は昨年度より微増の28%にとどまった。

2. 「まちの保健室」事業

常設型「まちの保健室」実施状況（千葉三越）

(1)目的

県民に対し看護を身近に感じていただける場の提供を図り、看護への関心と理解を高めてもらうと同時に、自己の健康への意識が高まるよう働きかける。

(2)事業内容

①開催日：7・10・12・2月の第2水曜日 11：00～13：00

②場 所：千葉三越地下2階優遊倶楽部フロア等

③内 容：ア ミニ講話

イ 相談

(3)実施状況

月日	テーマ	講師			講話	相談
7/9	「夏を楽しむために ～健康的なダイエット食～」	千葉市駅前 クリニック	管理栄養士	高橋 芳恵	7	3
10/8	「座って健康太極拳 ～6つの動きだけで生き生き～」		看護師	門脇 三恵	24	10
12/10	「身近な病気の認知症について学びましょう ～疾患別認知症の特徴を知り、 支援に役立てましょう～」	デイサービス なごみの家	認知症看護 認定看護師	西 ケイ子	12	4
2/11	「認知症の予防について ～認知症の発症を遅らせて生き活きと 暮らすために～」	デイサービス なごみの家	認知症看護 認定看護師	西 ケイ子	13	8
	合 計				56	25

(4)まとめ

- ・平成14年からこれまで13年間実施してきた千葉三越での「まちの保健室」は、マスメディアやインターネットの普及により、健康情報が平易に入手できるようになってきたこと等から、参加者が開設当時より激減したことにより、今年度をもって本事業を終了することとした。
- ・今後は、イベント型として三越から要請があれば、可能な範囲で協力していくこととする。

平成26年度 常設型「まちの保健室」実施状況（地区部会）

平成26年4月1日～平成27年3月31日

地区	血压測定		体脂肪測定		身体測定		禁煙相談		更年期相談		思春期子育て支援		その他		件数(延人数)		年齢構成								協力員		
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上		不明	計(実数)
千葉	31	32	20	21	0	0	5	7	0	0	0	0	11	6	67	66	11	12	18	6	22	13	0	0	0	82	31
市原	126	75	123	74	13	13	24	20	0	0	0	0	85	50	371	232	28	24	25	36	50	38	9	0	0	210	48
船橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市川	99	103	84	92	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	183	199	7	15	20	21	67	51	12	8	0	201	28
松戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東葛	187	215	187	210	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	374	425	8	28	52	96	367	222	26	0	0	799	41
印旛	531	165	529	166	0	0	0	0	0	0	0	0	411	139	1,471	470	22	34	64	143	394	248	18	0	0	923	40
利根	95	102	86	79	1	5	0	1	0	0	0	0	125	127	307	314	2	13	10	28	65	70	61	2	0	251	26
山武	72	11	53	6	6	0	0	0	3	0	0	0	31	6	165	23	2	0	8	10	28	32	4	0	0	84	26
長夷	37	6	29	3	5	3	0	0	1	0	0	0	9	3	81	15	0	1	2	4	16	18	4	1	0	46	12
君津	54	24	40	17	33	13	1	0	1	0	0	0	27	22	156	76	1	4	3	2	27	38	10	0	0	85	14
安房	29	15	29	13	0	0	0	0	0	0	0	0	11	2	69	30	5	2	7	3	15	19	14	0	0	65	14
合計	1,261	748	1,180	681	58	84	30	30	5	1	0	0	710	356	3,244	1,850	86	133	209	349	1,051	749	158	11	0	2,746	280

平成26年度 イベント型「まちの保健室」実施状況(地区部会)

平成26年4月1日～平成27年3月31日

地区	行事名	開催日	血圧測定		体脂肪測定		身体測定(復旧測定)		禁煙相談		更年期相談		思春期子育て支援		その他(健康相談等)		件数(延人数)		年齢構成							協力員				
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代		70歳代	80歳代	90歳代	不明
千葉	がん予防展 市民健康づくり	9月13日・14日	150	149															150	149									299	4
			225	73	205	57														430	130	18	28	46	39	194	214	17	3	1
市原	健康まつり	10月19日	207	81	133	67										370	117	710	265	32	24	30	32	119	68	14	6		325	31
船橋	かまがや福祉健康フェア ふなばし健康まつり	10月19日	116	38	116	38												348	114	7	5	10	15	46	66	4		1	154	6
			41	27	40	25													23	104	7	8	8	5	19	25	1			73
市川	健康フェア補安	10月19日	16	5	14	5												30	10									1	21	4
松戸	松戸まつり	10月4日	159	50	159	50										159	36	477	136	1	14	13	54	96	30	1			209	7
印旛	成田市健康・福祉まつり	10月19日	150	53	150	53			86	15					5	1	391	122	7	15	18	36	118	98	11	1			304	10
山武	救急フェア山武2014	9月7日	4	2	4	4												100	31	2	16	11	7	10	9				55	5
			28	27			12	11									133	129	173	167	72	8	10	13	5					108
長夷	アスモ夏まつり がん予防展inいすみ市	8月23日	14	10	2	5												16	15	1	4	2	6	11					24	4
			30	10															30	10				20	20					40
君津	アスモ桜まつり 君津市健康と福祉のふれあいまつり	3月28日	3	2														5	0	1	1	1	2						5	4
			126	50	123	47	120	44									231	76	600	217	10	7	16	24	47	74	17		1	196
小計			1,269	573	946	351	248	93	86	15	0	0	0	0	1,015	396	3,564	1,428	157	109	162	359	801	676	94	11	4	2,373	126	
合計			1,842	1,297	341	101	0	0	0	0	0	1,411	4,992	801	676	94	11	4	2,373	126										

※千葉地区の「がん予防展」は、性別・内訳不明につき血圧測定とし、男女比半々、年齢構成は50歳代と60歳代半々とする。
 ※松戸地区の「松戸まつり」の性別不明者は、女性とする。
 ※長夷地区の「がん予防展inいすみ市」は、人数は概算、性別・内訳不明につき血圧測定とし、男女比推定、年齢構成は50歳代と60歳代半々とする。
 ※君津地区の「君津市健康と福祉のふれあいまつり」の性別不明者は、女性とする。

3. 自殺予防対策事業

心の総合相談窓口

(1)目的：本県では、毎年約1200人以上の自殺者が発生しており、その要因は多岐にわたるが、心の病気が自殺と深く関係していると言われている。こうした状況を受け、本協会では平成22年度から県の「地域自殺対策緊急強化基金事業」の一環として、看護の専門性を活かしてうつ等の早期発見や早期対応を目的とした「心の総合相談窓口」（専用回線）を開設し、行政や専門機関と連携した自殺防止対策を推進する。

(2)相談日：月・水・金 13:00～16:00

(3)相談件数：年間 534件（453名）

①相談件数 年間 534件（延453名）

相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
実件数(相談者数)	50	42	46	45	46	40	31	24	29	20	28	52	453	84.8%
リピート数	1	6	13	7	7	14	6	3	7	5	4	8	81	15.2%
延件数	51	48	59	52	53	54	37	27	36	25	32	60	534	100%

②相談者内訳

ア 性別

性別	平成26年度
女性	325 (71.7%)
男性	104 (23.0%)
不明	24 (5.3%)
合計	453 (100%)

ウ 背景

背景	平成26年度
県民	399 (88.1%)
看護職	35 (7.7%)
医療職	2 (0.4%)
福祉職	3 (0.7%)
看護学生	6 (1.3%)
その他の学生	2 (0.4%)
その他・不明	6 (1.3%)
合計	453 (100%)
精神受診者	121 (26.7%)

エ 居住地(地区部会別)

居住地	平成26年度
千葉	25 (5.5%)
市原	6 (1.3%)
船橋	23 (5.1%)
市川	11 (2.4%)
松戸	9 (2.0%)
東葛	19 (4.2%)
印旛	24 (5.3%)
利根	15 (3.3%)
山武	5 (1.1%)
長夷	5 (1.1%)
君津	16 (3.5%)
安房	12 (2.6%)
県内地区不明	267 (58.9%)
県外	5 (1.1%)
不明	11 (2.4%)
合計	453 (100%)

イ 年齢

年齢	平成26年度
10代	3 (0.7%)
20代	15 (3.3%)
30代	11 (2.4%)
40代	27 (6.0%)
50代	38 (8.4%)
60代	44 (9.7%)
70代以上	31 (6.8%)
不明	284 (62.7%)
合計	453 (100%)

③相談内容

相談内容	メンタルヘルス関連 (内訳は複数回答)							総合計
	人間関係	家庭関係	能力に関する事	身体・健康問題	進路関係	施設・労働条件	その他	
	122 (29.5%)	149 (36.0%)	9 (2.2%)	183 (44.2%)	25 (6.0%)	43 (10.4%)	170 (41.1%)	414 (91.4%)
相談内容	メンタルヘルス関連以外 (内訳は複数回答)							453 (100%)
	—	—	苦情	身体・健康問題	進路関係	施設・労働条件	その他	
			6 (15.4%)	14 (35.9%)	2 (5.1%)	3 (7.7%)	18 (46.2%)	

研修会の開催（再掲）

(1)テーマ1 「うつ傾向にある患者への関わり方」

①目的：うつ傾向にある患者とのコミュニケーションが適切に行われるために、患者への関わり方に必要な知識と技術について学ぶ

②実施日時：平成26年12月12日（金）9:45～16:30

③参加者：98名（64施設）

④実施内容：

ア うつをめぐる社会的現状と課題（うつと自殺との関係、ゲートキーパー役割の重要性、支援事業）

イ うつ病／うつ状態の基礎知識（症状・治療、アセスメントのポイント、患者への関わり方のポイント）

ウ うつ傾向にある患者への関わり方（事例に基づいた患者理解とケアにつながるコミュニケーション、メンタルヘルス・ファーストエイド {適切な初期支援の実際}

⑤講師：昭和大学病院／昭和大学病院附属東病院 精神看護専門看護師 福宮 智子

ファシリテーター：慶應義塾大学病院 精神看護専門看護師 河野佐代子

国立がん研究センター東病院 精神看護専門看護師 佐々木千幸

聖路加国際病院 精神看護専門看護師 奥野 史子

筑波大学附属病院 精神看護専門看護師 綿谷 恵子

(2)テーマ2 「職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント」

①目的：看護職として自殺者の背景を理解し、ゲートキーパーとして対象の早期発見および予防、対応方法、並びに職場のメンタルヘルス対策について習得し、適切な支援ができる人材を育成する。

②実施日時：平成26年12月10日（水）9:20～16:45

③参加者：128名（70施設）

④実施内容：

ア 自殺対策（全国および千葉県の自殺の現状、心理学的剖検からみた自殺者の背景、自殺の予防法）

イ 職場のメンタルヘルス対策（病院という職場のメンタルヘルス対策の体制作り、ラインによるケア：

管理職の役割 {サインを見逃さない方法、部下への声のかけ方・専門家へのつなぎ方}

ウ 看護職の復職支援の実際（復職するための6つのステップ、事例から考える復職支援の実際）

エ 個人向けストレスマネジメント（セルフケア{看護職自身のストレスマネジメント方法}

⑤講師：茂原神経科病院 診療部長・精神科専門医・産業医 吉村 健祐

東京大学大学院 精神保健学特任研究員 医学博士・臨床心理士 今村幸太郎

(3)まとめ

昨年まで4年間実施した研修を見直し、申込みの多いテーマ1は内容をまとめて1日研修とし、対象者も全看護職のままとした。テーマ2については、外来看護師対象のゲートキーパー育成研修から、自施設スタッフへの対応に悩んでいるとの意見を参考にした、師長・主任等の管理職者対象の職場のメンタルヘルスと院内でゲートキーパー育成を推奨する研修に変更した。その結果、両テーマ共に定員以上の申し込みがあり、実施後のアンケート結果では、「うつ傾向の患者や高齢者が多く、病院にリエゾンナースも精神科医もいないため困っていたが、今後介入していけると感じた。」「他で受けた研修より、わかりやすく現場に活かすことのできる研修であった。」「自分自身の健康の大切さを知り、またこの研修で元気になった。」等好評であった。そのため、次年度も同内容で実施することとしたい。

4. たばこ対策事業

たばこに関する健康教育の普及啓発

(1)看護学校への普及啓発

①目的：今後看護を担う看護学生が、たばこをとおした健康教育を再確認し、その知識を地域に活かす役割を担う健康教育普及活動を行うことで、自らの喫煙防止・禁煙に対する自己高揚感をはぐくみ、看護職の喫煙率低減を図る。

②内容：

ア 看護学生への「たばこに関する健康教育」出前授業（485名）

・講師（日本禁煙科学会 理事 三浦秀史）による講義：3校
「健康セールスマン ～禁煙は、将来の自分へのプレゼント～」

・各学校の教員による講義：10校

イ 看護学生対象、地域住民等に対する健康教育活動 {14校 (244名)}

・学校内：10校10イベント（文化祭やオープンキャンパス等の学校内行事にて実施）

学校外：6校9イベント（地域の健康まつり等のイベント参加や実習にて実施）

・活動内容：ポスター展示やパソコンスライド上映による説明、紙芝居や健康クイズ、実験展示（カイワレ大根等）や測定（肺機能、酸素飽和度、味覚、ニコチン依存度）、寸劇（パフォーマンス）等、普及啓発活動が行われた。

・参加学校名：千葉大学看護学部看護学科、順天堂大学医療看護学部、帝京平成大学地域医療学部看護学科、了徳寺大学健康科学部看護学科、城西国際大学看護学部看護学科、国立病院機構千葉医療センター附属千葉看護学校、千葉県立鶴舞看護専門学校、千葉県立野田看護専門学校、君津中央病院附属看護学校、成田赤十字看護専門学校、日本医科大学看護専門学校、千葉中央看護専門学校、安房医療福祉専門学校、国保小見川総合病院付属看護専門学校

(2)新人看護職への普及啓発

①対象：看護協会のフレッシュセミナー(春)の参加者1,390名

②内容：

ア たばこに関する健康教育

・方法：ミニ講話「フレッシュマンの笑顔には白い歯が似合う～禁煙のススメ～」、たばこの健康被害に関する小冊子の配布

・内容：喫煙率および喫煙状況について、協会のたばこ対策事業について、禁煙の勧め方や禁煙外来の実際等

イ たばこに関するアンケート調査の実施

・方法：記述式アンケート調査

・調査項目：内容：喫煙率・喫煙の時期と背景・たばこの健康被害の教育を受けた時期・禁煙の意思・支援体制等

・結果：回収率（回答者1,387名）99.8%

喫煙率：11.7%（162名）（前年比0.2ポイント増）

性別 男性：28.2%（前年比4.6ポイント減） 女性：9.6%（前年比0.7ポイント増）

年齢別 22歳以下：8.5%（前年比1.2ポイント増） 23歳以上：17.8%（前年比0.4ポイント減）

事業参加別 参加校19校卒：11.7%（前年比3.6ポイント増）

その他学校卒：10.8%（前年比2.2ポイント増）

*4年間でたばこ対策事業へ参加した学校19校

喫煙開始時期：看護学生24.6%（前年比3.8ポイント増）

小学生から高校まで41.7%（前年比3.9ポイント減）

その他（社会人経験時等）29.6%（前年比0.3ポイント増）

喫煙のきっかけ：興味本位63.2%、友人が吸っていた37.4%

新人看護職(フレッシュセミナー参加者)アンケート調査 千葉県生活習慣に関するアンケート調査

喫煙率	女性	男性	全体
平成19年度	—	—	20.4%
平成20年度	—	—	20.5%
平成21年度	—	—	20.8%
平成22年度	17.2%	35.4%	18.9%
平成23年度	12.9%	32.4%	15.2%
平成24年度	11.6%	43.7%	15.7%
平成25年度	8.9%	32.8%	11.5%
平成26年度	9.6%	28.2%	11.7%



女性
—
—
10.9%
—
8.4%
—
7.8%
—

まとめ

平成22年度から出前授業を開始し、24年度に学生指導用テキストを作成・配布し自校で教育ができる体制を整備した結果、教員によるテキストを活用した健康教育として授業化されるなど拡大してきた。

また、この教育受講生による学校内・外活動は、5年間で22校が参加し、各学校イベントとして発展してきた。

この結果、フレッシュセミナー参加者対象のアンケート調査では、喫煙率が平成21年度20.8%であったが、26年度は11.7%とおおよそ半減した。特に県内女性の喫煙率は、21年度10.9%、25年度には7.8%と3.1%の減少であったが、看護職は22年度17.2%、25年度8.9%で8.3%減少し、県民女性と看護職の格差も大幅に縮まった。また、22歳以下の喫煙率は、22年度16.7%であったものが、26年度8.5%と約半減した。

このように、本事業は、5年間で一定の成果が得られたこと、社会的にも禁煙対策が進み喫煙率が全体として低率になってきたこと等から、たばこ対策事業は終了することとし、「たばこをとおした健康教育」普及啓発運営委員会において承認を得た。

今後は、看護学校から講師紹介や器材の貸し出し等の要請があった場合、協会が支援を継続する。また、地区部会活動のまちの保健室において、地域住民等への健康教育を従来どおり実施していくこととする。

5. 災害支援対策事業

災害支援ネットワークの強化

(1)千葉県看護協会災害対策本部の設置：設置基準（震度5強以上の地震、支援が必要と予測される災害）

(2)災害時における関係機関との連携

①日本看護協会及び都道府県看護協会、②千葉県・市町村

(3)平常時における連携

①県内施設、日本看護協会等合同防災訓練

平成26年9月2日（火）～9月4日（木）

参加施設：災害支援ナース所属施設63施設、派遣候補者122名、派遣決定者122名

協会内にて災害対策本部設置訓練（協会内全部門参加）、訓練実施を千葉県に通知

②九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加

ア 千葉県会場

9月6日（土）南房総市 和田地域福祉センター前

安房地区部会看護職15名参加（内、災害支援ナース1名）

9月4日（木）リハーサル 安房地区部会看護職11名参加

イ 千葉市会場

8月31日（日）みつわ台中学校 千葉地区部会看護職2名参加

ウ 船橋市総合防災訓練

8月31日（日）船橋市消防署及び市内54小学校 船橋地区部会看護職58名参加

エ 千葉市シェイクアウト訓練

9月1日（月）看護会館(研修生含む)・ナースセンター・ちば訪問看護ステーション138名参加

③日本看護協会との「災害支援ナース派遣に関する協定」の締結 7月1日付

④日本看護協会主催「平成26年度都道府県看護協会災害看護担当者会議」への出席(7/30)

⑤千葉県主催の「災害医療救護マニュアル等の整備に係る会議」への出席(7/3、8/11、9/16、11/13)

⑥指定地方公共機関への指定(災害対策基本法第2条第6項に基づく千葉県からの指定)2月27日付

⑦「千葉県防災会議」への出席（指定地方公共機関の指定により、会長が委員に就任）(3/23)

⑧千葉JRAT（仮称）の組織化に向けた検討会」への出席（3/23）

災害時に備えた支援体制の整備

(1)災害支援ナースの登録促進

・7月11日災害看護基礎編研修時、看護会館（137名）・亀田総合病院（14名）・旭中央病院（17名）にて申込書を配布の上で登録を推奨

・3月5日災害看護実践編研修時（71名）に登録を推奨

(2)災害支援ナースの登録・管理

・災害支援ナース登録者 226名（3月末現在）

・新規会員登録施設に「災害救護対応マニュアル」、新規災害支援ナース登録者に「災害支援ナース必携マニュアル」を追加送付

・システム改修 3/17完了

①登録更新が可能なシステム ②入力項目の追加 等

・災害支援ナース登録証用写真の未撮影者に対する写真撮影

(3)災害時の災害支援ナースの派遣調整

(4)災害時必要物品の管理

- ・寝袋の虫干し
- ・不足・期限切品の補充（ヘルメット・アルファ米・圧縮タオル・ウエットティッシュ・下着セット・LEDライト懐中電灯他）

災害支援ナースの育成

(1)災害看護研修（基礎編・実践編）（再掲）

- ・災害医療と看護（基礎編）7/10～7/11 修了159名
- ・災害医療と看護（実践編）3/4～3/5 修了71名

(2)災害支援ナース更新要件研修、訓練等

「災害支援ナースフォローアップ研修会」

日 時：2月17日（火）9：30～17：00

場 所：看護会館2階 大研修室

内 容：講義「千葉県看護協会の災害支援体制について」

「災害支援ナースのメンタルヘルスについて」

GW「災害支援ナースのメンタルヘルスについて」

演習「災害支援ナース活動の実際～東日本大震災での支援活動から～」

出席者：95名（参加者83名、講師等8名、協会4名） 修了82名

まとめ

- ・日本看護協会との合同防災訓練実施後の会員施設等からの意見聴取からは、訓練に使用した様式への意見や送信方法等について提案が出された。様式については日本看護協会へ改善要望をし、送信方法等については次回の訓練時に改善していく予定。
- ・これまで九都県市合同防災訓練の参加者は、開催市町村の地区部会に協力を得ていたが、地区部会長会で広く参加募集を呼びかけてもらいたい要望があったので、次年度検討していきたい。
- ・平成25年3月に「災害支援ナース登録」実施要領を定め、平成25年度に第1回目のシステム改修を行った。また、今年度3月に行った第2回目のシステム改修では、今後の登録要件等の実施要領改訂にも対応可能となるようにした。また、第1回目の登録更新を平成27年5月に実施することで、登録システムについては、ひととおりの区切ができると考えられるため、今後は看護協会の災害支援体制について、更に会員施設等へ周知していきたい。

6. 千葉県小児救急電話相談事業

目的

夜間に起こる小児の急な病気に対する保護者からの電話相談に応じ、保護者の不安を解消し、適切な受診判断を助け、救急医療の適正な利用を促進する。さらに経験豊かな看護相談員を確保し、相談員の資質の向上と円滑な相談対応ができる体制づくりをする。

実施内容

(1)相談員の登録・管理

①相談体制

相談日：365日 19:00～22:00

相談体制：看護師3名(土・日・祝日は4名)体制 後方支援(医師1名)

登録相談員：22名輪番制

②相談件数：18,537件 (1日平均50.8件、平成25年度実績51.3件)

(2)相談員の勤務調整

2ヶ月毎に勤務表作成・調整

(3)相談員の研修会

①登録相談員の研修会開催 (年2回)

<第1回>

日時：平成26年11月9日(日) 13:00～17:15

場所：千葉県看護会館 中研修室

ねらい：小児アレルギー性疾患に焦点をあて、緊急時の適切な受診判断基準を学ぶ。判断に迷う事例、対応に困った事例等について共有し、検討を行うことで自身の相談対応を振り返り、今後の実践に活かす。

内容・「#8000に対するアンケート調査の結果報告」

講師 千葉県小児科医会 会長 猪股弘明

・「小児アレルギー性疾患と対処法について」

講師千葉県小児科医会 副会長 佐藤好範

・研修会参加報告(小児救急電話相談スキルアップ研修会 基礎・実践コース)

・事例検討～判断に迷う事例、対応に困った事例～

参加者：25名(相談員19名、小児科医師3名、事務局3名)

<第2回>

日時：平成27年2月21日(土) 13:00～15:00

場所：千葉県看護会館 中研修室

ねらい：予防接種に関する最新情報を学び、知識を深め副反応等を理解する。

内容・子どもの定期予防接種の概要

講師 千葉県健康福祉部疾病対策課 感染症予防班 班長 宇崎めぐみ

・子どもの定期予防接種の実際

講師 鎌ヶ谷市健康福祉部健康増進課 副主幹 本間 恵

・研修会参加報告(小児救急電話相談対応者研修)

参加者：21名(相談員15名、小児科医師1名、講師2名、事務局3名)

②外部研修会への参加

- ・小児救急電話相談スキルアップ研修会（主催：日本小児保健協会）

【基礎コース】

日 時：平成26年6月20日（金）12：30～16：30

会 場：コラッセ福島

内 容：小児救急の電話相談の社会的な意義やスキル、受療行動へのアドバイスとともに相談者に安心を与える電話対応のあり方などの理解を目的とした講義、演習、グループワークなど

受講者：2名（相談員歴5年、相談員歴3年）

【実践コース】

日 時：平成26年9月22日（月）13：00～18：00

平成26年9月23日（火）9：00～16：00

会 場：国立オリンピック記念青少年センター

内 容：自らの電話対応の傾向を理解し、相談者をエンパワーメントする相談技法の向上などを指すためのSP(模擬相談者)を用いた電話相談実技、グループワークによる討議、講義など

受講者：2名（相談員歴5年、相談員歴3年）

- ・小児救急電話相談対応者研修（主催：厚生労働省医政局）

日 時：平成26年11月15日（土）10：10～17：15

会 場：(株)WOWOWコミュニケーションズ会議室（横浜みなとみらい）

内 容：小児救急電話相談の目的・役割、電話でのコミュニケーション、事例研究、ロールプレイング、アンケートからの意見交換会

受講者：1名（相談員歴4年）

- (4)千葉県小児救急電話相談事業運営協議会への出席年1回（3/26）

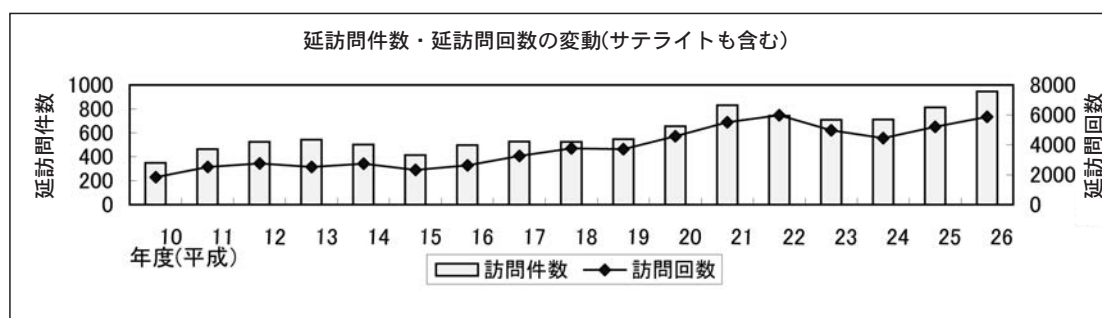
Ⅴ 介護保険法に基づく指定居宅サービス、居宅介護支援に関する事業 並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業

1. 訪問看護事業

訪問看護及び居宅介護支援事業の延実績

保険区分	事業年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
介護保険 での 訪問看護	件数			428	447	409	315	349	367	332	347	421	553	464	479	467	495(77)	557(141)
	訪問回数			2,104	1,946	2,025	1,498	1,568	1,716	1,566	1,640	2,072	2,844	2,956	2,557	2,354	2616(323)	3005(647)
医療保険 での 訪問看護	件数			97	95	94	99	149	161	192	201	235	278	280	231	245	317(75)	406(80)
	訪問回数			645	578	718	827	1,058	1,550	2,205	2,064	2,501	2,662	3,028	2,421	2,096	2599(379)	2867(397)
合 計	訪問件数	349	464	525	542	503	414	498	528	524	548	656	831	744	710	712	812(152)	945(221)
	訪問回数	1840	2530	2,749	2,524	2,743	2,325	2,626	3,266	3,771	3,704	4,573	5,508	5,984	4,978	4,450	5215(702)	5872(1044)
	常勤換算									4.1	4.4	5.6	6.0	6.8	5.7	7.2	8.3(2.0)	10.5(1.8)
居宅支 援事 業	プラン 件数			467	430	414	371	610	600	450	437	572	732	736	667	672	697	668

注) 上記の()はサテライト柏の実績



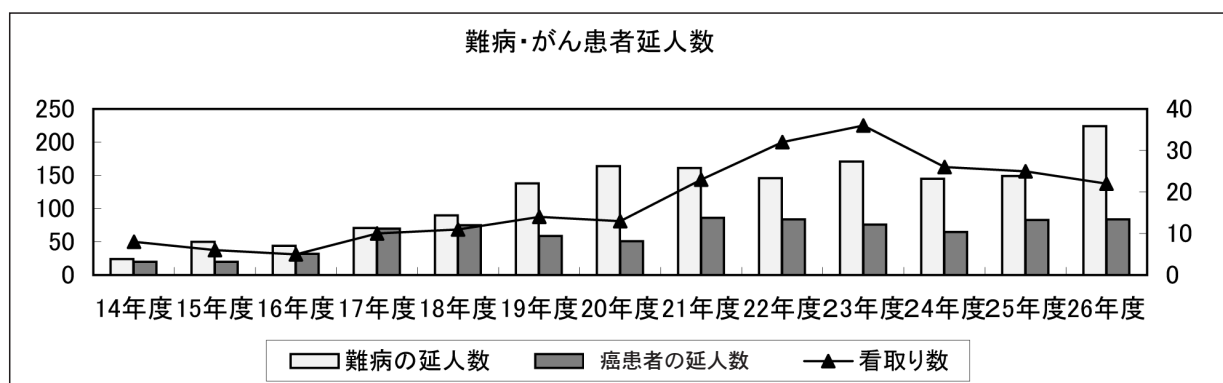
- *平成26年度の常勤換算人数が平均10.5人。退職者3名、入職者1名。月平均訪問看護数は489件、1人1日平均2.3件を訪問している。
- *保険別で見ると、医療保険より介護保険の方が利用者・訪問回数がわずかに多い。
- *サテライト柏については当初の目的である、サテライトの普及及び運営検証が終了し、新たな経営主体に移行したことで終了とした。
- *平成26年度の居宅支援ではケアマネージャの常勤換算が1.6人で、月平均56件であった。

難病・癌患者の延人数と看取り数

年 度	H	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
難病の延人数		24	50	44	71	90	138	164	161	146	171	145	149	179	224
癌患者の延人数		20	20	32	70	75	59	51	86	84	76	65	83	63	84
看 取 り 数		8	6	5	10	11	14	13	23	32	36	26	25	24	22
(うち家での看取り)						2	4	10	12	16	21	11	16	13	11

*難病の延人数は平成18年度から増加している。癌患者は月平均5~7人を見ている。

*看取りの内、約半分以上の方が在宅で看取られている。



緊急時訪問の時間帯延件数

年度	H 13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
日中 8時-18時					16	23	28	49	126	156	89	95	113	167
早朝 6時-8時			1				1	4	11	5	20	3	5	1
夜間 18時-22時	6	1	5	2	5	10	8	18	36	35	40	41	38	54
深夜 22時-6時							3	9	25	34	38	26	14	22
計	6	1	6	2	21	33	40	80	198	230	187	165	170	244

* 年々、緊急・臨時訪問数が増加している。

* 夜間・深夜帯(18~8時)の勤務外緊急訪問件数が多い。

年度	H 13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
休日の訪問件数	9	1	4	8	7	15	34	77	172	174	118	99	134	215

* 平成20年度から、予定訪問・緊急訪問を含め休日の訪問回数が増加している。

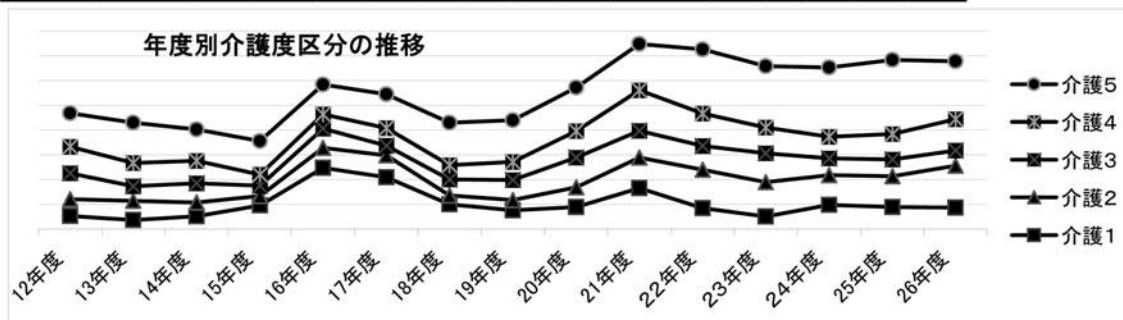
学生実習・研修の状況

実習生・研修生延数(人)	H 13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	90	82	81	106	125	129	139	126	156	164	203	185	207	155

* 平成26年は、9の学校から実習学生、7施設から研修生を受け入れている。

2. 居宅支援事業

平成年度	利用者数	年齢		性別		地区					介護度					
	実績数	1号	2号	男	女	美浜区	中央区	稲毛区	花見川区	四街道市	支援	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
12年度	469	412	57	139	332	263	84	122	0	0	1	52	68	105	107	136
13年度	430	394	36	121	309	230	80	120	0	0	1	36	78	59	94	162
14年度	418	380	38	167	251	223	70	125	0	0	16	51	56	78	90	127
15年度	371	321	50	202	169	225	52	89	5	0	16	95	38	42	45	135
16年度	610	534	76	302	308	437	68	76	29	0	25	247	81	77	58	121
17年度	600	526	74	279	321	443	69	64	24	0	56	209	88	40	71	136
18年度	451	404	47	249	202	329	37	73	12	0	22	99	37	64	58	171
19年度	439	349	90	222	217	336	37	54	12	0	75	42	81	73	168	
20年度	572	438	134	306	266	401	70	84	17	0	88	80	120	108	176	
21年度	748	576	172	403	345	448	129	122	49	0	165	124	108	164	187	
22年度	726	576	150	390	336	454	82	140	50	0	84	155	97	131	259	
23年度	658	552	106	264	394	402	75	89	82	10	50	139	117	104	248	
24年度	652	535	117	214	438	376	78	138	48	12	97	120	68	88	279	
25年度	679	564	115	208	471	410	88	134	33	14	88	125	68	103	299	
26年度	678	564	114	212	466	397	128	102	38	13	86	170	61	127	234	



* 常勤換算1.6名、1名の標準担当件数35名。

* 2号被保険者が16.8%、特定疾患や癌末期の利用者が多い。

* 地区別では事業所が美浜区に所在しているため美浜区に集中している。人伝の紹介で近隣の市からの依頼もある。

* 介護度別で要介護2と要介護5の利用者が多い。特定疾患・がん末期で医療依存度の高い利用者が多い為と考える。

VI その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 平成26年度 地区部会活動 結果報告

千葉地区部会

地区部会長：太田 茂

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：体調を整えるリンパマッサージ 講師：佐々木 由香・牛木 瑞江	日時：7/28 (月) 13:30～16:30 場所：千葉市ビジネス支援センター15階 多目的室 参加者：92名
	第2回研修会 テーマ：がん終末期患者の家族の支援 講師：岩崎 紀久子	日時：10/4 (土) 13:30～16:30 場所：千葉市ビジネス支援センター15階 多目的室 参加者：56名
	第3回研修会 テーマ：医療安全の観点から患者・家族と円滑なコミュニケーション技術を学ぶ 講師：大廣 澄江	日時：H27.1/26 (月) 13:30～16:00 場所：千葉市ビジネス支援センター13階第2・3会議室 参加者：44名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日 (中央行事として県看護協会と合同開催)	日時：5/17 (土) 12:00～16:30 場所：アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張> 参加者：2,441名 内容：各種測定、健康相談 栄養相談 骨密度測定等
	進路相談等	「看護の日」においてナースセンターや県看護協会担当者の説明及びパンフレットを配布
	まちの保健室 (常設型) 毎月第3 (土) 時間 14:00～16:00	実施日：6/21 7/19 8/23 9/20 11/15 12/20 1/17 2/21 3/21 場所：アリオモール蘇我 参加者：133名
	がん予防展	実施日：9/13(土)、9/14 (日) 10:00～17:00 場所：イオンモール幕張新都心 参加者：299名 内容：血圧測定、健康相談等
	健やか未来都市ちばプラン 市民健康づくり大会	実施日：10/18 (土) 10:00～16:00 場所：きぼーる1階アトリウム 参加者：560名 内容：血圧・体脂肪率・肺年齢測定、健康相談等
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会 (計5回) うち3回が協力員会を含む	日時：4/18 7/18 9/19 12/19 2/20 場所：千葉市ビジネス支援センター 千葉地区における地区部会の活動計画の立案、実施、評価
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：7/18 (金) 15:00～16:30 場所：千葉市ビジネス支援センター 参加数：20施設 21名
	第2回連絡会	日時：2/20 (金) 15:00～16:30 場所：千葉市ビジネス支援センター 参加数：17施設 17名
5 その他、地区部会活動	第35回9 都都市合同防災訓練千葉市会場訓練	日時：8/31(日) 9:30～11:30 場所：千葉市立みつわ台中学校 参加数：主会場 約2,000人 (県看護協会1名・地区部会2名)
<p>総括</p> <p>各施設間での差はあるものの看護師不足は歪めない現状である。地区部会として看護師確保対策の一環としての合同就職説明会等開催について検討した結果、今後「看護職就業相談」として「まちの保健室」で案内等行っていく予定としている。また、今後も会員のニーズに合った研修を企画するとともに、研修の場などを利用し看護協会への入会を呼びかけていく。「まちの保健室」活動は毎月蘇我のアリオで開催してきたが、利用者が伸びない状況もあるため、次年度はアリオ蘇我からイオンモール幕張新都心への場所変更を予定している。</p>		
<p>今後の取り組み(残された課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員のニーズにあった研修企画 ・集客数増と住民ニーズに即した「まちの保健室」活動 ・千葉地区部会内での合同就職説明会開催については「看護職就業相談」として「まちの保健室」で案内等行う予定 		

事業項目	実施項目	実施内容
1 看護に関する教育研修	第1回研修会 テーマ：褥瘡について 講師：高木 弘枝氏、塚越 美典氏	日時：6/27(金) 18:30～20:30 場所：サンプラザ市原 1F文化創造ホール 参加者：90名
	第2回研修会 テーマ：口腔ケアについて 講師：大島 美葉氏	日時：9/19(金) 18:30～20:30 場所：サンプラザ市原 1F文化創造ホール 参加者：61名
	第3回研修会 テーマ：感染症について 講師：白石 央子氏	日時：11/7(金) 18:30～20:30 場所：サンプラザ市原 1F文化創造ホール 参加者：66名
2 看護の普及及び進路相談	看護の日	日時：5/17(土) 13:00～16:00 場所：ショッピングモール ユニモちはら台 参加者：652名
	進路相談等	日時：5/17(土) 13:00～16:00 場所：ショッピングモール ユニモちはら台 参加者：3名
3 住民を対象とする看護活動	まちの保健室（常設型） 毎月第2もしくは第3（土） 時間13:00～16:00	実施日：6/14 7/19 9/13 11/15 12/13 場所：ショッピングモール ユニモちはら台 参加者：603名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：健康まつり 時間10:00～15:00	実施日：10/19(日) 場所：市原市保健センター 参加者：975名
4 組織の強化と 協会加入の促進	役員会（計7回）	日時：4/9 6/4 7/2 9/3 10/1 12/3 2/4 場所：市原看護専門学校
5 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：4/9(水) 15:00～16:30 場所：市原看護専門学校 参加数：5施設 5名
	第2回連絡会	日時：9/3(水) 15:00～16:00 場所：市原看護専門学校 参加数：5施設 5名
6 その他、地区部会活動	看護技術講習会・看護職合同就職説明会	実施日：11/19(水) 8:30～15:00 場所：市原市保健センター 参加者：14名
	市原市の協力事業 ・市原健康福祉センター運営協議会 ・市原市防災会議 ・医療と介護の連携に関わる意見交換会 ・高齢者保健福祉専門部会 ・市原市保健福祉懇話会 ・高滝湖マラソン 千葉県の協力事業 ・アクアラインマラソン ・看護系進路ガイダンス	各種協議会に出席 協力員派遣
<p>総括</p> <p>研修会は現場の看護活動を支援できる内容となることを目的として行った。褥瘡については講師を2施設の認定看護師が共同で実施したことでそれぞれの施設の活動などより多くの情報提供があり、参加者のスキルアップに繋がったのではないかと評価する。参加者には看護補助者、理学療法士、歯科衛生士、介護士などの他職種の参加もあり、また例年とは違う施設、クリニック、訪問看護ステーションからの参加があり、研修会内容がより要望や社会情勢に合った内容であったと評価する。</p> <p>看護の日の行事では看護協会活動や健康行動活動を広くアピールすることができた。今回はAEDの操作・体験、乳がん検診にも関心を示す多くの方が訪れ、効果的に実施できていた。</p> <p>今年度も市原市の多くの事業に協力をしている。また、県事業である看護系進路ガイダンスを初めて担当し、看護職を希望する高校生、保護者、学校関係者に看護の魅力を説明する機会となった。短い時間ではあったが効果はあったと評価する。また潜在看護師に向けた、看護技術講習会・看護職合同就職説明会には、7病院1施設が14名の参加者に向けて実施した。1名ではあるが就職が決定し、雇用に向け支援に繋がったと評価する。</p>		
<p>今後の取り組み</p> <p>会員の連絡会参加が少ない現状である。出席を促し、意見交換や情報交換を活発にしていきたいと考える。今年度研修会には多くの職種、施設の参加があった。しかし非会員も多く、施設会員、個人会員を増やす方策を取っていきたいと考える。看護職を希望する高校生や潜在看護師に向けた技術支援や合同就職説明会の機会を有効に活用していきたいと考える。</p>		

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 看護実践研修会 テーマ：糖尿病患者の効果的なセルフケア 講師：野間 弘子 氏	日 時：7/16 (水) 14:00～16:30 場 所：船橋市立医療センターD3 講義室 参加者：58名
	第2回研修会 地域連携研修会 テーマ：KYTを通して看護業務を安全に実施するための具体的な方法を学びましょう 講師：和田 弘子 氏	日 時：10/16 (木) 14:00～16:30 場 所：鎌ヶ谷総合病院 参加者：89名
	第3回研修会 管理者研修会 テーマ：職場におけるメンタルヘルス 講師：美野 直子氏	日 時：2/25 (水) 14:00～16:30 場 所：JCHO船橋中央病院附属看護専門学校 参加者：45名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/17 (土) 10:00～15:00 場 所：東武船橋駅 コンコース 参加者：762名
	まちの保健室 (イベント型) イベント名：かまがや福祉健康フェア 時間 10:00 ～ 16:00	実施日：10/19 (日) 場 所：鎌ヶ谷市総合福祉健康センター 参加者：462名
	まちの保健室 (イベント型) イベント名：ふなばし健康まつり 時間 9:00 ～ 16:00	実施日：11/9 (日) 場 所：船橋市運動公園 参加者：166名
	高校総合体育大会救護	実施日：8/2～8/4 場 所：船橋市運動公園 体育館 参加者：不明
	高校総合体育大会救護	実施日：8/2～8/7 場 所：船橋市総合体育館 参加者：不明
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会 (計 9 回)	日 時：4/24、6/5、7/10、7/16、9/11、 10/16、11/6、1/22、2/25 場 所：船橋市男女共同参画センター 鎌ヶ谷総合病院 JCHO船橋中央病院附属看護専門学校
	看護協会PR	・研修会時、非会員へ協会加入を促す
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：7/10 (木) 14:00～16:00 場 所：船橋市男女共同参画センター 参加数：25施設 25名
	第2回連絡会	日 時：2/25 (水) 13:00～14:15 場 所：JCHO船橋中央病院附属看護専門学校 参加数：24施設 24名
5 その他、地区部会活動	1.地域の防災訓練に参加	・船橋市総合防災訓練 8/31 (日) 市内54小学校で実施 役員2名 協力員56名
	2.地域のイベントに参加	・船橋市救急シンポジウム 9/6 (土) 役員1名
	3.市町村及び関係団体との活動	・習志野健康福祉センター運営協議会 ・船橋市保健・医療・福祉問題懇談会 ・船橋市災害医療活動研究会 ・船橋市国民保護協議会 ・ふなばし健やかプラン21市民運動推進会 ・東葛南部地域保健医療協議会 ・船橋市在宅医療ネットワーク委員会 ・船橋市救急シンポジウム委員会
<p>総 括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の役員会・連絡会・研修会は予定通り行なうことができた。 ・研修会は現場のニーズに合った内容となるように、講師と事前の打ち合わせを密に行った。出席者は多かった。引き続き行っていく。 ・認定看護師のイベントの参加については今後も行っていく。 		
<p>今後の取り組み(残された課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設型まちの保健室の再開催の実施、候補施設は見つかったので実施できるように計画立案する。 ・協力員を多岐の施設から参加してもらえるように、連絡会でアピールする。 		

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：緩和ケアを学び患者との関わりを考える 講師：行徳総合病院 副看護部長 山口聖子 氏	日時：9/27(土) 14:00～17:00 場所：山崎製パン企業年金基金会館 4F春光の間 参加者：36名
	第2回研修会 テーマ：口腔ケアの実際～急性期から在宅へ～ 講師 東京歯科大学市川総合病院 歯科医師 木村絵美子氏 東京歯科大学市川総合病院 主任歯科衛生士 馬場里奈氏	日時：12/6(土) 14:00～17:00 場所：山崎製パン企業年金基金会館 4F春光の間 参加者：34名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日時：5/17(土) 11:00～15:00 場所：市川市中央図書館 参加者：128名
	まちの保健室（常設型） 毎月第3（土） 時間 11:00～15:00	実施日：6/21、7/19、9/20、11/15、12/20、 1/17、2/21 場所：市川市中央図書館 参加者：382名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：健康フェア浦安 時間 11:00～15:00	実施日：10/19(日) 場所：浦安市健康センター 参加者：40名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計8回） ・看護協会事業計画 ・各事業の活動計画 ・活動状況と結果及び評価 ・施設間情報交換	日時：5/9、6/13、7/11、9/12、10/24、 11/14、12/12、2/6 場所：順天堂大学医学部附属浦安病院 山崎製パン企業年金基金会館 5F A会議室
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会 ・活動計画 ・活動状況 ・看護協会事業計画 ・施設間情報交換	日時：6/13(金) 15:00～17:00 場所：山崎製パン企業年金基金会館 参加数：13施設 16名
	第2回連絡会 ・活動計画 ・活動状況 ・看護協会事業計画 ・施設間情報交換	日時：11/14(金) 15:00～17:00 場所：山崎製パン企業年金基金会館 参加数：12施設 12名
5 その他、地区部会活動	市町村及び関係団体の活動	・市川健康福祉センター運営協議会委員 ・市川市防災会議 ・市川・浦安自殺対策を考える連絡会議 ・市川市国民保護協議会委員
<p>総括 研修会は年回2回で企画は精一杯というところであり、来年度も2回の計画であれば可能である。 今年度の内容は、知識・技術を中心に行った。看護実践に必要な疾患的知識・専門的技術については、興味深い内容であった。施設によっては、土曜日以外での開催を希望しており、来年度は考えていきたい。 まちの保健室では、リポートして下さる方が増えたが、来場者としてはもう少し増やしたい。新しい旗にして、目に留まることが多いように感じる。もう少し市川市や図書館に広報していく必要を感じる。来年度の役員引き受け施設が、予定通りいかなかった。その都度、引受先を探さないよう連絡会で協力を得る。</p>		
<p>今後の取り組み(残された課題) 役員施設の引き受けについてが一番の課題である。引き続き、連絡会で協力を得ていく。 まちの保健室は、市の広報に掲載や図書館にポスター掲示を依頼するなどして、利用者を増やしたい。 研修は、連絡会で意見を募る、研修会参加者の期待に応えられるよう日程や講演内容を準備していきたい。</p>		

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：摂食・嚥下に障害がある人への 関わり方 講師：石川祐希恵・小川悦子 氏	日 時：7/18 (金) 14:00～16:00 場 所：国保松戸市立病院 2号館5階会議室 参加者：62名
	第2回研修会 テーマ：アロマ・ハンドマッサージで 癒しを試みよう 講師：武藤まりも・小池佳代子 氏	日 時：11/21 (金) 14:00～16:00 場 所：国保松戸市立病院 2号館5階会議室 参加者：32名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/17 (土) 10:00～14:00 場 所：松戸駅東口デッキ 参加者：629名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：松戸まつり 時 間：10:00～16:00	実施日：10/4 (土) 場 所：松戸駅西口デッキ 参加者：613名
	進路相談等 「松戸まつり」イベント内	日 時：10/4 (土) 10:00～10:30 場 所：松戸駅西口デッキ 参加者：0名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計8回）	日 時：4/18 5/23 6/20 7/18 9/19 10/4 11/21 1/23 場 所：国保松戸市立病院 2号館5階会議室
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：6/20 (金) 14:00～16:00 場 所：国保松戸市立病院 2号館5階会議室 参加数：8施設 9名
	第2回連絡会	日 時：1/23 (金) 14:30～16:30 場 所：国保松戸市立病院 2号館5階会議室 参加数：9施設 9名
5 その他、地区部会活動	松戸市花火大会救護 三師会主催 集団災害懇話会	日 時：8/2 日 時：4/8 5/13 5/25 6/3 7/1 8/5 9/2 10/7 11/4 11/9 12/2 1/13 2/3 3/3
<p>総 括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回の施設連絡会は、施設間での情報交換は有意義であった。 ・26年度は2回の研修を企画。1回目「摂食・嚥下に障害がある人への関わり方」は現場において参考となる貴重な講義だった。 ・2回目は、「アロマ・ハンドマッサージで癒しを試みよう」は、参加者全員が講師からのハンドマッサージを直接体験でき、力加減を実感することができた有意義な研修だった。 ・まちの保健室はイベント型にした。次年度は常設型を計画したい。 		
<p>今後の取り組み(残された課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント型にしたまちの保健室のデータ集計が不十分となり、個人票の見直しが必要である。 ・まちの保健室は県立西部図書館での開催を軌道に乗せる。 		